

2022年 第56号
 とことん面倒見のよい学校
 中央カレッジグループ

学園新聞

中央情報経理専門学校
 群馬法科ビジネス専門学校
 中央医療歯科専門学校太田校
 専門学校 中央農業大学校
 専門学校 中央情報大学校
 高崎ビューティモード専門学校
 中央動物看護専門学校
 中央医療歯科専門学校高崎校
 中央スポーツ医療専門学校
 中央高等専修学校前橋校・桐生校
 CRI 中央外語学院
 資格の学校 TAC群馬校

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>
 〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124



for the next
 誇り胸に 次なるステージへ

「学園創立80周年を学生と共に!」。専門学校9校、高等専修学校2校、教育関連機関及び企業からなる中央カレッジグループ(中島利郎代表)は、令和4年9月5日、創立80周年を迎えました。周年事業を担当する実行委員会(中島慎太郎委員長)は、これを記念し、10月24日に高崎芸術劇場で「発表会・講演会・コンサート」を開催、学生・生徒、役員・教職員ら2000人が参加しました。

創立80周年祝い 講演やコンサート

宇宙飛行士の山崎さんが学生にエール



美しい響きを演奏する群馬交響楽団アンサンブル



80年の歴史と今後について語る
 中島慎太郎実行委員長



創立80周年を記念した「発表会・講演会・コンサート」
 高崎芸術劇場

群馬交響楽団アンサンブルの響きに感動

中央カレッジグループは、昭和17(1942)年に有坂作太郎翁が、「前橋服装女学院」を創立、初代学校長に就任したことにそのルーツがあります。その歴史を踏まえ、在校生と共に祝おうと企画されたのが今回の催しです。

当日は、第1部「学園の歴史とCSCP(Chuo SDGs Challenge project)」、第2部「記念講演会(講師:宇宙飛行士の山崎直子さん)」、第3部「記念コンサート(群馬交響楽団アンサンブル)」の3部構成で行われました。

第1部は、学校法人有坂中央学園、学校法人中央総合学園の理事長で、80周年事業実行委員会の中島慎太郎実行委員長によるあいさつで始まりました。中島理事長は、80年の歴史を刻む学園の沿革を、映像を活用して紹介。会場を埋めた次代を担う学生・生徒の皆さんへ、多彩な学校群を持つ学園の特色とその歴史を踏まえ、在学中も卒業後も「絆を大切にチャレンジしてほしい」と、エールを送りました。

また、学園グループ各校で取り組んでいるSDGsを基本にした教育・事業活動「CSCP」の実践例報告が、担当の村椿仁・中央情報大学校副校長により行われました。村椿副校長は、グループ全体での実践、各校ごとの取り組みについて具体的に報告、一過性ではなく、今後も継続的に本プロジェクトを継続していくことを誓いました。



会場を埋めたグループ校の学生や生徒たち

第2部は、宇宙飛行士の山崎直子さんを講師に招いた講演会。山崎さんは2010年に、スペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗し宇宙へ旅立ち、国際宇宙ステーションに滞在してロボットアーム作業などを行っています。現在は内閣府宇宙政策委員会委員、公益財団法人日本宇宙少年団理事長などの要職にあります。

講演の冒頭で山崎さんは、「中央カレッジグループ80周年おめでとうございます。このことは、歴代学園関係者、教職員・学生生徒の皆さん、地域の皆さんなど関係する一人一人の力があっての歴史だと思います。私に関わっている宇宙の仕事も、多くの方々のチームワークで成り立っています。きっと学園グループも、多くの方々のチームワークで歴史をつくり、夢を叶えてきたのだと思います。そんな願いを込めて

お話ししたいと思います」と始めました。山崎さんは、宇宙への人類のかかわり方などの歴史から説き起こし、自らの体験をもとに、宇宙から見た地球、地球から見た宇宙、宇宙船・地球号の視点から講演を展開しました。

特に国際宇宙ステーションにおける仕事の半分以上が、仲間のサポートであること、地道な助け合いが、いかに大切であるかを具体的に語りました。その一方で、「一人一人の強い思いがあって、その上にチームワークができる。それが大切」とも強調。最後に、宇宙ロケットの開発に大きな力を果たしたロバート・ゴダードの言葉『昨日

の夢は、今日の希望であり、明日の現実である』を引用、会場の学生・生徒に「夢をもち、希望があり、それを実現することは、歴史の繰り返し。未知のものがあるからワンドラブル、自分たちの人生も同じ」と、挑戦の大切さを訴えました。当日のようすは、オンライン配信されました。

第3部は、群馬の誇る音楽文化、群馬交響楽団メンバーによるコンサート。生のクラシック音楽にはなじみのない学生たちも、優しい解説と弦楽アンサンブルの美しい響きに感動したようすで聞き入っていました。

会場では、学園新聞の創立80周年記念号外も参加者に配布されました。



学生・生徒に夢や未来について講演する
 宇宙飛行士の山崎直子さん

加藤さん、ダブル受賞 GIA 2022 11P
80周年事業 写真特集 2、3P

写真特集

多彩に創立記念事業展開

教職員とともに80周年祝う



学園創立80周年を教職員とともに祝う学校法人有坂中央学園創立80周年記念式典が、創立記念日である9月5日、群馬県公社総合ビルホールで厳かに行われました=写真④⑤。

新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、外部来賓を招いた式典は中止になりましたが、教職員全員でその歴史を祝いました。同日には、学校法人有坂中央学園の新理事長に中島慎太郎氏(副理事長)の就任が発表されました。

尾瀬SDGsハイキング

2班で 自然環境学習

80周年記念事業として、「SDGsの知識をいかし尾瀬の自然を体験し学ぼう!」をテーマにした「尾瀬SDGsハイキング」が、2班編成で行われました。



第1陣
(8月31日・9月1日)

CSMの1年生27人が参加。ブナ植林地での間伐体験、ヤマネの観察、尾瀬ヶ原トレッキングに挑戦。



や尾瀬の自然を学びました。
力しながら間伐体験、ヤマネ観察
学生25人が参加。各校の学生と協
CAG、CAN、CIDの有志

第2陣(9月12・13日)

11校が一堂に会し展示・販売

初の合同学園祭 ビエント高崎を会場に

中央カレッジグループの9専門学校、2高等専修学校が一堂に会した初の合同学園祭が、高崎市問屋町のビエント高崎及び周辺で9月23日に行われ、各校の展示や模擬店、ステージイベントなどで盛り上がりました。

前日準備の際には前夜祭も行われ、教職員も参加した



にぎわった初の合同学園祭



会場内では動物とのふれあいも



各校の体験コーナーには家族連れも目立った



オープニング式典



多くの来場者で埋まった芸人ライブ会場

学園祭を支えた学生実行委員のメンバー



親子eスポーツ大会も開かれた

「SDGs」から社会貢献まで

福祉・医療など650施設に 除菌シート10万袋を寄贈

中央カレッジグループ創立80周年事業の先駆けとして、県内教育・福祉・医療など650施設に、グループの社会貢献活動として除菌シート約10万袋を寄贈しました。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染症拡大に際し日夜対応している関係施設や日ごろお世話になっている学校などのお役に立てればと計画されたもので、令和4年2月から4月ごろまで実施されました。

この取り組みに際し、除菌シートを受け取った施設や学校などから、有効



除菌シート寄贈を発表する中島利郎代表と
中島慎太郎理事長

活用の報告や感謝の言葉が寄せられました。



学園創立80周年を記念し掲載された見開き広告(9月5日付)

創立80周年記念見開き広告

上毛新聞「審査委員・デザイン賞」に輝く 広告賞

中央カレッジグループが、学園創立記念日である9月5日付で上毛新聞に掲載したフルカラー見開き広告が、第28回上毛新聞広告賞「審査委員・デザイン賞」に輝きました。

優れた新聞広告を表彰する上毛新聞社広告賞は、新聞広告の日(10月20日)にちなみ制定され今年で28回を数える歴史ある賞。前年の10月1日から今年の9月30日までに、原則として群馬県内の制作会社が手がけ、上毛新聞に掲載された広告が対象で、審査委員会(委員長・高山利弘群馬大学情報学部長、4人)で審査されました。

本グループが出稿した広告は、創立80周年のキャッチフレーズ「for the next 誇り胸に 次なるステージへ」のもと、学園のシンボルマークであるカワセミが、80年の歴史と実績を振り返り、そこに差し込む光は、学園の可能性、将来性、未来などを象徴しています。

10月25日には上毛新聞社ホールで表彰式が行われ、中島慎太郎理事長



受賞作品について語る中島理事長

が出席、清水直樹上毛新聞社取締役営業局長から賞状などが手渡されました。受賞後のインタビューで中島理事長は「次(90周年)は、大賞を狙いたい」と、決意を語りました。

審査委員の馬場早苗さん(グラフィックデザイナー)の紙面コメント

見開きで紙面を大きく使った視覚に強く訴える作品。空間を生かした全面黒一色の配色により80年の歴史の重厚さが、明るく差し込む光からは強い希望や未来が感じられる。

学園全体で「SDGs」に挑戦

独自のSDG



活動の第1弾として教職員研修を実施
カードゲームなどでSDGsを学んだ

国連が定めた持続可能な開発目標SDGsに合わせ、中央カレッジグループでは学園独自カリキュラムで達成を目指す「CSCP」(Chuo SDGs Challenge Project)を策定、学園を挙げて挑戦しています。

教職員、学生がそれぞれ、主体的に社会の諸問題に対する意識を変え、行動に移すことを目的とするもので、多様な学科コースを有する本学園グループならではの取り組みです。

学校ごとの取り組みを前に、3月23日には、学園教職員を対象にSDGsの意識付けを目的とした全体研修会がGメッセ群馬(高崎市)で行われ、カードゲームなどを通じて学びました。

この経験を踏まえ、各専門学校や高等専修学校で独自に行動計画を立て、それを具体的に実践します。さらにそれを外部に発表、発信することで活動の輪を広げていきます。

リカレント講座開講

80周年記念事業の一環として、学園グループが運営する各校の教育内容を中心に、情報ICT、ペット、健康、美容、雑学など幅広いテーマの中から講座を開講し、地域の方へ「リカレント講座」として提供します。

「リカレント(recurrent)」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、「リカレント教育」とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことです。多様なライフスタイルやライフステージの変化に応じた生き方や働き方が求められる中、注目が集まっていま

す。学園グループ各校では、これまでさまざまな分野の学習内容を提供してきたノウハウを生かし、創立80周年を迎える本年から、地域の方を対象とした講座を開講しました。いつでも、どこ

各校の学習分野を活用 オンラインとリアルで多彩に

でも、オンラインで聴講が可能な「オンライン講座」と、対面形式でじっくり学習ができる「リアル講座」で対応しています。

講座の詳細や申し込みは「リカレント講座サイト」(<https://chuo.ac.jp/recurrent/>)をご覧ください。多くの

皆さんのご参加をお待ちしています。主な内容は次の通り(一部開講済み)。
(オンライン講座)
・スマホでかんたん動画制作
・Excel基礎講座



スマホで簡単動画制作を指導

- ・セルフ美容講座
- ・愛玩動物看護師について
- ・毎日お世話になるお口の簡単お付き合い講座
- ・「農と食」で生活を豊かに
- ・群馬の温泉を愛そう
- ・歯の磨き方講座



- ・短時間シェイプアップ講座
- (リアル講座)
- ・群馬の温泉を愛そう※12月予定
- ・初級簿記講座(基礎編)※終了
- ・スマホでかんたん動画制作※終了

<https://chuo.ac.jp/recurrent/>

学校法人 有坂中央学園

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp



中央情報経理専門学校では、就職早期内定に向け、学生・教職員一体で取り組んでいます。本年度も資格合格などの学習成果を生かし早期内定者が相次いでいます。内定者の声を紹介します。

内定先：

恩田会計事務所

情報経理学科経理専攻2年

狩野 悠介さん

(第一学院高校出身)



検定合格が自信に

入学時には将来どのような仕事に就きたいのか考えていませんでしたが、6月の日商簿記2級、11月の日商簿記1級と順調に合格し、1月から始まった税理士試験の勉強をしていく中で会計事務所への就職を意識するようにな

就職内定者インタビュー 夢に向かって

りました。就職への準備ができていない中で内定先の募集の話があり、決断しなければならぬ期間が短かったことと、履歴書の準備や面接試験の練習などがとても慌ただしかったことを強く覚えています。そのような慌ただしい中で就職試験を受けましたが、内定をいただくことができました。就職先が早く決まったことの安堵感と、税理士試験の勉強に専念できることに気持ちはかなり楽になりました。

簿記の勉強も初めてでしたが、検定に合格することで自信を深めることができました。税の知識はまだ少ないですが、簿記と同様にしっかり学習していくことで正しい知識を身に着

け、来年から即戦力として働けるように準備をしていきたいと思っています。

内定先：群馬ダイハツ

自動車株式会社

情報経理学科経理専攻2年

清水 彩夏さん

(桐生第一高校出身)



web説明会で希望企業に出会う

約5カ月にわたる就職活動は、自己分析して自分のことを見直す、とても成長できた期間だったと感じます。はじめは経理事務を希望して活動していましたが、徐々に自分が「何の仕事をしたのか」「どのような職種が一番向いているのか」といった悩みが出てきました。考えれば考えるほど答えが分からなくなり、本当に就職活動が嫌になった時期もあります。でも立ち止まっても仕方ないと思い、がむしやらにさまざまな企業を調べました。

周りの方々の助けもあり、徐々に方向性が見えてきた時は少し心が軽くなったことを覚えています。そしてアルバイトの経験から、接客業が好きだったこともあり、コミュニケーション力を必要とする職種に就きたいと思いました。その中で、学園内のweb企業説明会に参加して、内定先の企業に出会いました。

業務内容を聞いた瞬間、自分の中で「絶対にこの企業に行きたい!」と感じました。最初は試験回数も多くとても不安でしたが、やってみないと分からないと自分を奮い立たせました。試験を突破していく中、アルバイトで得たコミュニケーション力や礼儀、学校で学んだ知識などの経験がこんなに役立つとは思いませんでした。最終面接では、受け答えがしっかりできているか分からなくなるほど緊張しましたが、今までの努力を無駄にするわけにはいかないと考えた途端、落ち着いて対処することができました。内定の連絡をいただいたときはとてもうれしかったです。両親もとても喜んでくれて、少しは親孝行ができたかなと感じました。一喜一憂の就職活動でしたが、本当にいい人生経験になりました。

入学し2カ月で日商簿記2級合格

IT会計ビジネス学科
IT会計マネジメント専攻1年

小林 蓮さん

(前橋商業高校出身)



多くの試験に合格したい

高校で簿記の授業はありましたが、日商簿記の学習はしたことがなかったため、入学してから2カ月で2級に合格できるのか心配でした。復習を怠ることがないように努力した結果、確認テストで常に良い点数を取ることができるようになり、次第に自信が付いてきました。また、本試験を想定した答

練でもほとんど合格点が取れていたため、いつの間にか不安は消え、むしろ高得点で合格したいと考えるようになりました。先生からも高得点で合格できると後押しされ、よりやる気が出ました。70点以上で合格のため、80点以上を目標に臨んだ結果、90点で合格。点数を聞いたときは疑ってしまうくらい驚きましたが、本当にうれしかったです。

IT会計マネジメント専攻は、簿記以外にも、さまざまな資格取得を目指すことができます。全ての試験を高得点で合格していきたいです。

医療・医療系で多彩な取り組み

マルエドラッグで 有償型インターンシップ

..... 医薬販売学科

本年度新設された医薬販売学科では、午前中は学校で授業、午後は県内のマルエドラッグ店舗で有償型インターンシップとして実践的に学ぶ、デュアルシステム型教育を行っています=写真。



インターンシップとは、学生が企業に訪問し、実際に仕事を行う職業体験で、体験を通じて必要なスキルを身に付け、働くことの理解を深めることを目的としています。

本校の提携先のマルエドラッグで活動した時間は登録販売者の実務経験として申請できます。学校では科目単位取得に結びつき、また長期有償型インターンシップのため給料も発生します。学生にとっては経済的な負担が少なく、専門学校卒業と同時に資格取得の実現が可能です。

インターンシップではより実践的に働くために多くの知識が必要となります。医薬品の作用や法律など、午前の授業では意欲的に学ぶ学生もいます。また販売職として必要な売場づくりやお金の管理、社会人として必要な接客マナー、パソコン技術などの知識も日々勉強をしています。

学生自身が自主的に キャリアデザインゼミ

..... 医療福祉秘書学科

医療福祉秘書学科では、学校行事を通じて学生自身が企画・立案・実行できるようキャリアデザインゼミを導入しています。変化の激しい医療業界や社会情勢に対応できるよう、前橋赤十字病院など最先端の現場で働く病院職員の方の講演、卒業生と在校生が交流する機会などを設けています。

これによって、1年生は、在学中に学んでおくべきことや目標を持つことの大切さ、自分がどうありたいかを考えるきっかけとなりました。例えば、黒沢病院の院内見学では、漠然としていた将来の夢が具体的に想像できるようになりました。2・3年生は上尾中央総合病院人事担当者や株式会社ウォームハーツの代表取締役などから、学生に期待することや就職後の教育体制、仕事をするうえで必要な知識、経験を踏まえたアドバイスをいただきました。また、卒業生からも実際の仕事内容の話や、憧れの職場で働く先輩の姿に刺激を受け、就職活動に対して積極的に became.

キャリア学習は教員から教わるものではなく、専門家など講演を聴く中で、学生自身が自己理解を深め、仕事全般の理解を高めていくことだと気づくことができました。

情報ビジネス学科1年生が 「さる小研修」で交流

情報ビジネス学科1年生が、5月に1泊2日の研修合宿に参加しました。場所は、旧猿ヶ京小学校校舎で、現在は改修され、泊まれる学校「さる小」に生まれ変わり、映画のロケ地などにも活用されています。

「さる小研修」は、クラス内交流や実践授業で必要となるチームワークづくりを目的とした入学後初の行事です。最初は緊張気味の学生たちも、さまざまな活動を通し、打ち解け、夕食は班ごとのオリジナルカレーを調理。その後、花火大会や宝探しリレーなどを楽しみました。自由時間にはボウリング、卓球、ピアノなど思い思いの時間を過ごした学生からは「クラスメートとの仲が良くなった」「ワクワク感があり楽しかった」などの感想が寄せられました。

後日、振り返りの授業として全国にある廃校をどのように活用したらよいか、グループごとに企画・提案のプレ



1年生の宿泊研修

ゼンを行いました。これは次年度のイノベーションアワードに向けた取り組みです。

GIAの2次審査に進出

阿部さんが新アプリ提案

情報ビジネス学科2年生の阿部未帆さんが、起業家発掘の群馬イノベーションアワードの2次審査(10月22日)に進出しました。阿部さんは、自分一押しの人やキャラクターなどを応援する「推し活」を対象とした「グッズ交換・買取アプリ」を提案。SNSを活用し、ユーザー同士が安心して商品交換ができるサブスクサービスをプレゼンしました。ファイナル出場は逃したものの、審査員から質問されるなど関心を集めました。

就任あいさつ

中央情報経理専門学校

学校長 **今井 俊一**

(前 群馬県立伊勢崎商業高等学校校長)



4月から中央情報経理専門学校の学校長として就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

就任にあたり、本校で学ぶ皆さんに期待を込めて、「昨日までの自分を乗り越えよう！」という言葉をご贈

ります。

この言葉には昨日までの自分にはできなかったこと、やってこなかったことに果敢に挑戦して、少しでも

いいから前進してほしい、成長してほしいという願いが込められています。

夢の実現に向かって勉強を進める中で、「あと1問解いたら終わりにしよう!」「あと1枚プリントをく

昨日までの自分を乗り越えよう

ださい!」という「あと1問」「あと1枚」の頑張りが、本番の試験で「あと1点」をもぎ取ることに繋がります。「昨日までの自分を乗り

越えよう!」「自分の殻を打ち破れ!」「限界打破!」「現状維持ではなく現状突破!」、この言葉を心の中でつぶやいて、昨日までの自分を乗り越えてほしいと思います。

〈専門学校は専門性を高める学校〉だということを肝に銘じ、高資格取得と実践的専門知識・技術の習得を目指して、毎日全力で頑張ることを期待しています。

創立80周年の記念すべき年に学ぶ学生の皆さん、これからも、元気を出していきましょう!

CIAの
SDGs
活動

差別や環境、食品ロス 主体的に取り組む



中央カレッジグループ創立80周年事業の一環で5月18・19日にSDGs研修を行いました。これは世界で環境問題や経済格差、紛争など、さまざまな問題が発生している現在、自分たちに何ができるかを考え、実践していくプロジェクトです。

1日目はSDGsの本質を理解、社会課題の認知です。17のゴール設定や難しい言葉の羅列に、最初はよく理解していなかった学生たちでしたが、カードゲームを通じ疑似体験することで、「私たちにもできることがある」と意識改革につながったようです。

2日目は社会や地域における課題をグループワークで学びました。発想法とディスカッションを用いて、課題解決に向けた考えをグループ内で共有、行動に移すための計画を発表しました。チームごとのテーマが興味深く、

考え方も異なり、価値観の違いを改めて実感しました。

研修を通して本校から数多くの活動宣言が発表されました。その中から、①差別を無くすため「LGBTQ+」を理解、演劇を通して、ジェンダーレスの大切さを伝える、②産業廃棄物を有資源としてリサイクルを行い環境保全につなげるとともに、公的機関を介して寄付を行う、③食品廃棄ロスに向けた取り組みとして、フードドライブを実施して販売・寄付・イベントに参加する。この3件をSDGs達成に向けた学校の取り組みとして、学生・教職員一丸となって推進していきます。

未来の地球が良くなるよう、ゴールに向けて、それぞれの行動が必要不可欠で、課題を主体的に捉え、解決に向けて自ら考え、自ら行動できる人材を育成していきます。

留学生がホテルでインターンシップ

2年生のカインさん

国際ビジネス学科観光ビジネスコース2年のTRAN DANG PHUONG KHANH (チャン・ダン・フォン・カイン)さんが夏休みを利用して、ホテルグリーンプラザ軽井沢でのインターンシップに参加しました。カインさんに、インターンシップの感想とアドバイスを聞いてみました。

☆カインさんの感想

ホテル業務の一環として、レストランでお客様の接客や料理の提供などを経験しました。お客様が求めているサービスが理解できないこともありましたが、常に「報連相」を心がけました。チームで働く大切さも実感し、とても良い経験ができました。今回のインターンシップでの経験を生かし、日本のホテルで働きたいです。後輩へのアドバイスとしては、常に新しいことに挑戦し、スキルアップしてください。挑戦はあなたの人生をより面白くすると思います。

卒業生2人も同ホテルに

このホテルには昨年度の卒業生2人、CHOOMNOY SANAYU (チュ



インターンシップのホテルで先輩と
(中央がカインさん)

ムノーイ・サナーユ)さん、THEERADETPITAK PIYANAN (テイラデスピタク・ピヤナン)さんも働いており、インターンシップ中はカインさんもいろいろ教えてもらったようです。卒業生からも在学学生へのエールを送ってもらいました。

☆卒業生2人からのエール

在学中に勉強しておいてほしいことは、やはり日本語です。就職したら、発表や日報も全て日本語です。アルバイトや後輩のことの指導も任されています。覚えることや気をつかうことが多いですが、上司や先輩が温かく教えてくれ、いつも助けてくださいます。社会人として健康管理をし、職場で貢献できるよう頑張ってください。

6学科が工夫凝らす

合同学園祭に出展

本校は、ピエント高崎で初開催されたグループ合同学園祭に、学生成果発表の場として各学科の特徴を打ち出して参加しました。

展示では、POP作成や写真撮影、ゲーム性のある体験型コーナーに子どもから大人まで足を運んでくださいました。模擬店はチュロスやベビーカステラなど6店舗を出店。常に長蛇の列ができ、にぎわいました。

企画から当日の運営まで、すべて学生が中心となり実施。コロナ禍により高校時代を含め、初めて文化祭に参加する学生が多かったため、今回の学園祭は良い思い出になったようです。

教育実習

「保育者になる」 決意強まる

保育福祉学科2年 梅室 里菜

10日間の教育実習を行い、授業だけでは学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。初めての实習で、たくさんの不安がありましたが、学校の先生のサポートや、実習先の先生が優しく丁寧に教えてくれたり、アドバイスしてくださったので毎日充実した実習生活を送ることができました。

主に3~5歳児クラスを担当し、各クラスによって特徴が違ったり、学年によってできることの違いを間近で感じる事ができました。また、子どもの発達段階に合わせた指導や、支援の仕方、声掛けなどを学ぶことができました。

最初の5日間は、活動内容などのメモを取ることに必死になってしまい、子どもたちのようすや指導の仕方、声掛けなどを見ることができませんでした。しかし、実習先の先生に「実習中はメモを取ることも大切

だけど、見て感じることのほうがもっと大切」とアドバイスいただき、実習をする意味に気付かされました。翌日から、見て感じることを意識してみると、今まで見えなかった部分を、より鮮明に見ることができました。また、手遊びや絵本の読み聞かせなどについて、授業で発表した時は緊張してしまい上手にできなかったのですが、子どもたちの前で回数を重ねることで、スムーズに発表することができるようになりました。間の取り方や子どもたちのようすを見ながら進めることの大切さを学ぶことができました。子どもたちが楽しんでいるようすを間近で見ることができてうれしかったです。もっと手遊びの種類を増やして、次の実習でも自信をもって実践したいと感じました。

10日間で学んだことを今後の実習や授業で生かせるよう日々精進したいです。将来、実習先の先生方のような保育者になれるよう、アドバイスをしっかりと受け止め、「保育者になる」という夢を必ず実現させたいです。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

令和4年度 公務員試験

1次試験合格が480人超え

早くも137人が最終合格

群馬法科ビジネス専門学校の学生たちが目標とする令和4年度公務員試験の合格報告が続々と寄せられています。

試験日程が早いものは、すでに最終合格が出ており、11月中旬時点での最終合格者数は137人となっています。9月に1次試験が行われた市町村や県の採用試験については、まだ最終合格の結果が発表されていないものも多々ありますが、1次試験の可否結果はすべて出そろい、11月中旬の段階での公務員試験1次合格者数の累計は昨年度

を大きく上回る480人超えとなりました。

学生たちの中にはすでに現場で公務員として働き始めている者もいます。ほかの学生たちも彼らに続くことができるよう、2次以降の試験に向けて対策と準備を進めています。

▶最終合格状況

11月中旬までに最終合格が発表された試験の合格先を紹介します。警察官

については、群馬県、埼玉県、神奈川県の大卒・短大卒区分で14人が最終合格（9月試験の結果は未発表）。まだ最終合格が発表されていない自治体もある市町村事務職員ですが、すでに11人が合格。都道府県職員では、群馬県を中心に東京都などでも最終合格を勝ち取り、警察事務や学校事務なども併せて20人。国家公務員は、海上保安官や刑務官も含めて36人（自衛官は除く）。

また、国立大学や国立研究機関の事務職である国立大学法人職員や、東京都の都立病院の事務職である東京都立病院機構事務職に最終合格した学生もいます。

最終合格の発表を待つ学生もいれば、これから最終試験を控えている学生も多くいます。最後まで気を緩めることなく準備を進め、最終合格まで走り抜いてくれることを期待しています。

SDGsの学びと実践

古紙回収し、再生へ

再生紙100%のトイレトペーパー

学生・教職員 一体で取り組む



学校内で再生可能な紙資源を回収



集まった古紙類の量を象徴する多くの回収箱

再生紙100%のトイレトペーパーとして生まれ変わった

2015年に国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」は、多くの自治体においても総合計画策定の際に導入されています。そのようなSDGsについての理解を深めることは、一市民としてはもちろんのこと、公務員を目指す者として特に必要不可欠であるといえます。

本校では、中央カレッジグループ創立80周年記念事業であるCSCP（Chuo SDGs Challenge Project）の一環として、SDGs達成に向けて自分たちに何ができるかを模索し、活動目標を策定し、実行に移してきました。

活動テーマの策定

学生たちはカードゲームを通してSDGsについての基礎を学んだうえで、グループディスカッションをしながら身近な課題を分析し、さまざまな視点に立った活動テーマを考えました。今回SDGsを学ぶために使用したゲームは「2030 SDGs」。このゲームで学生たちは、自分たちの意識や行動の変容が、この社会全体にどのような影響を与えていくのかを楽しく学ぶことができました。その後、数人のグループに分かれ、自

分たちの身の回りにどのような課題があるのか、また、それらを解決するために自分たちに何ができるのかを話し合い、グループごとに活動テーマを提案し合いました。

SDGsの実践

食品ロス、資源の再利用、環境問題などさまざまなテーマが提案されたなか、今回、本校全体で取り組むこととなったのは、古紙再生の推進です。使用済みのルーズリーフやマークシート、余ったプリントなど、

学生たちの学校生活のなかでは、廃棄される紙が毎日、多数発生しています。そうした紙類を単なるゴミではなく、リサイクル可能な資源として再評価し、学生・教職員が一体となった回収を始めました。回収した古紙は、鶴見製紙株式会社の協力を得て再生紙100%のトイレトペーパーとして生まれ変わり、本校で使用されています。このような取り組みで、森林資源の持続的な利用やゴミの削減、省エネなど、多様な面で社会貢献に繋げることを目指しています。

目標は「最終合格」 本番想定し全員体制で

「自己PR」「志望動機」明確に

面接試験は公務員試験における登竜門です。本校では今年も面接強化週間と銘打って、職員全員態勢での面接試験対策が9月27日から10月3日の間で実施されました。

公務員試験と聞くと、どうしても判断推理や政治経済などが出題される教養試験をどう乗り越えるかということに目がいきがちですが、実は対人能力やコンピテンシーが重要視される傾向が強く、どんなに教養試験で良い結果を残せても、面接試験でうまく自分の良さを伝えられなければ不合格になりかねません。そのために本校で行っている面接強化週間では、面接強化対策の全体講義で面接の基礎知識を学び、自分自身の長所や、これまでの学外生活等で経験してきたことなどを整理したうえで、本番さながらの模擬面接によって実践を学びます。

実施にあたっては、卒年次の教員だけでなく、進級年次の教員や学校長の協力も得て、職員全員態勢で臨み、学

校全体を巻き込んだ一大イベントとなりました。

【全体講義】

本校と提携にある実務教育出版社の宮脇渉氏から、面接試験に臨むうえでの心構えや、面接試験の形式別の対策方法、今後に向けての準備の方法などについての講義を受けました。また、全体講義終了後には、個別の質問対応の時間も設けられ、学生たちは疑問や不安を解消したうえで、次のステップに進むことができました。

【面接カード】

続いて学生たちは、面接練習で使用される面接カードの作成に取り組みます。このカードは、国家一般職の面接

試験で使用される面接カードを参考に、「志望動機」「自己PR」「学校生活の思い出」などを文章でまとめるものです。学生たちはそれぞれ数多くの長所や、素晴らしい経験などをもっていますが、いざそれらを自分の口で表現するとなると、思いのほか苦戦します。漠然とした考えを文章に書きだして整理・分析することで、何をどのように相手に伝えればよいのかがわかり、相手に自分を売り込む方法が見えてきます。

【模擬面接】

面接に向けての準備ができた学生たちは模擬面接に臨みます。模擬面接初日は、入退室の仕方や立ち振る舞いなど基礎的な部分を重点的に指導されましたが、2日目以降は自己PRや志望動機などについて深く掘り下げた質問がなされ、本番さながらに面接が進められていきました。面接後には、教員からのフィードバックがあり、学生た



面接カード添削。これまでの経験を振り返って自分のアピールポイントを考えます。



スーツを着て、本番さながらの緊張感で模擬面接。

ちはそこでもらったアドバイスを糧(かて)にして次の面接練習に臨みましました。面接に不慣れな学生も多く、ぎこちない姿も散見されましたが、繰り返し挑戦していくなかで徐々に面接の雰囲気に慣れ、自分のことを堂々と表現できるようになっていきました。

面接強化週間を通して磨かれた「自分の考えを端的にわかりやすく相手に伝える技術」や「人前での礼儀作法」などは、面接試験だけではなく、生涯にわたって学生たちの力となり得るものです。あらゆる場面でこれらの技術と知識を生かし、それぞれの舞台上で活躍してくれることを期待しています。



今年も高校生であふれた夏期セミナー

前橋・桐生で夏期セミナー 100人超す高校生参加

公務員を志す高校生たちに人気の、本校恒例の「夏期セミナー」が今年も前橋と桐生の両会場で開催され、100人を超える高校生が参加しました。

このセミナーは、9月から本格的に始まる公務員試験の1次試験突破を目指し、約2週間にわたって徹底的に教養試験の対策授業を行うものです。

新型コロナウイルス感染予防対策として、受講生の密集を避けるために、前橋3会場、桐生1会場の計4会場に分散して開催。授業は、公務員試験で

出題されるほぼ全ての科目をカバーする14科目が実施され、ほかにも模擬試験や現役公務員による座談会も実施されました。

セミナー終了後には、「捨て科目が捨て科目でなくなった」「あつという間の14日間でした。友達もできたし自信もついたのでとても充実した日々を過ごせました」といった感想が聞かれ、改めてこのセミナーが公務員を目指す群馬の高校生に対して果たしている役割の大きさを実感しました。

新たに40人が入団 「学生消防団」50人に

昨年度誕生した本校「学生消防団」に、新たに40人の学生が加わり、今年度は総勢50人の学生たちが学生消防団として防災・広報活動に携わりました。警察官・消防士コースの学生たちが中心となりながらも、事務系の学生たちも大勢参加してくれており、安全な暮らしや治安の維持に対する学生たちの意識の高さが伺えます。

毎週水曜日の放課後、JR新前橋駅周辺とフォレストモール新前橋で、消



「学生消防団」任命式に臨んだ学生たち

防団員の募集案内や家庭用火災報知器設置のチラシを配布。併せて奉仕活動として学校周辺地域の清掃活動にも毎週取り組んでいます。

本校学生消防団の活動が一人でも多くの市民の目に留まり、防災やゴミ問題への意識向上につながることを願っています。



避難所開設と運営をゲームで学ぶ学生

防災などの専門家から直接学ぶ 職業実践専門課程で特別講義

本校が取り組む職業実践専門課程の一環として、県内大学の教授や自治体の職員など各分野の専門家を招いた特別講義を2年制1年生のコースで実施しました。

この講義は、多方面のプロフェッショナルや現場の最前線で働いている方々に学ぶことで、職業選択の幅を広げると同時に業務に対する理解を深め

ることを目的としています。5月から6月にかけて計8回開催されました。

さまざまなテーマで講義を実施しましたが、今回は特に自然災害の激甚化・頻発化が懸念される社会を意識し、防災にスポットを当てた講義を多く取り上げました。

前橋地方気象台や群馬県危機管理課の職員の方に災害対策について講義をいただいたほか、前橋市の防災危機管理課の方々に来ていただき、災害時の避難所の開設と運営について体験的に学ぶ避難所運営ゲームに取り組みました。学生たちは、グループに分かれて試行錯誤しながら、公務員としての業務の一部を楽しく実践的に学ぶことができました。

今回の講義を通して、行政に関する知見を広げ、公務員としての素養を高めてくれることが期待されます。

速成コースの8人が修了

速成(半年)コース修了式が、9月30日に行われ、8人の修了生が式典に参加しました。林康宏学校長は、修了証授与に次いで、「為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり」と上杉鷹山の言葉を引用し、「合格を成し遂げるという強い意志を持ち続けて努力し、この後控えて



速成コースの修了式

いる面接試験で合格を勝ち取ってほしい」と激励の言葉を送りました。

厳かに戴帽式

臨床実習に向け20人が決意



星野学校長からキャップを受ける学生

19期生20人の戴帽式が7月14日、ロイヤルチェスター太田を会場に、厳かに行われました。

戴帽式とは、学生たちが医療人として、歯科衛生士の仕事に対する意識を高め、責任の重さを自覚し、その決意を表明する式です。授与されたナースキャップには、自覚、責任、愛、信頼、感動、誇りの意味が込められています。

感染対策を講じて実施された式では、保護者も見守る中、学生一人一人に星野寛一学校長からナースキャップが授与されました。

学生たちは、臨地実習へ臨むために



実習へ向け決意を誓う戴帽学生

必要な知識と技術を習得し、友人同士で励ましあいながら、勉強や練習を経てこの日を迎えることができました。

式典では、戴帽学生代表の野村祐希さん(市立太田高校出身)を中心に「思いやりの心を忘れず学習した知識と技術を社会のために役立てます。歯科医療の尊厳を守り医療従事者としての責

務の重さを自覚し常に連携と強調、博愛と奉仕の心を持ち続けます」と、全員で声をそろえ固く誓いました。

戴帽学生は10月1日から医療現場にて6カ月間の臨地実習へ臨みます。今まで学んだ知識・技術を生かし、研鑽を積んでほしいと思います。



アンカンミンカンの富所さんに 分かりやすく「SDGs」学ぶ

「創立80周年記念事業の一環としてSDGsについて学ぼう」。本校は、4月26日に太田市社会教育総合センターで、群馬県住みます芸人アンカンミンカンの富所哲平さんを講師としてSDGs講演会を開きました。

みどり市出身の富所さんは「SDGsを学ぼう ～ひとりの百歩より みんなの一步～」の演題で、学生たちに自ら学び、自ら行動することにより、主体性を育てそれぞれの意欲変容・行動変容につなげていくことの大切さを具体的に訴えました。

その中で、「知らないことを知ることが「学び」・考え方や行動が変わることが「成長」であると強調。「二酸化炭素が出るとなぜ地球が温まるのか」「地球温暖化でミツバチがいなくなるとどうなる」「オーストラリアの森林火災の原因は」などと学生に質問を投げかけました。学生たちは、分かっているようなことでもいざ問われるとはっきりとは分からない、説明でき



SDGsについて語る富所さん

ないということを知りました。富所さんは、「結果は知っていても、なぜそうなったのかという繋がりを知ることが大切」とアドバイスしてくれました。

講演後、3年の厚木智絵さんが学生を代表し、「今後、創立80周年記念事業の一環としてカードゲームを通しSDGsを学ぶ予定であり、そのさきかけとして講演をいただき学びが深まりました」とお礼の言葉を伝えました。

熊野保育園でCSCP 歯磨き指導など実践

本校2年生が11月24日、熊野保育園を訪問、年長児24人に第一大臼歯の磨き方など歯科保健指導を行いました。

これはCSCP(中央カレッジグループにおけるSDGs活動)の一環として実施されたもので、「虫歯予防で健康を推進する」ことを目標に取り組みました。



紙芝居で歯の役割や大切さを指導

学生たちは、歯科医師の立ち合いのもと、歯の役割や大切さ、歯磨きの重要性などを、紙芝居や模型を使い分かりやすく説明し指導しました。

40人が熱心に 卒業研究発表

口腔ケアなどテーマに



多彩なテーマで行われた卒業研究発表会

3年生40人による卒業研究発表会が、10月13日に太田市社会教育総合センター大ホールで行われました。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小しオンライン形式で実施しましたが、今回は3年ぶりのホール開催となりました。

研究発表テーマは、「災害時の口腔ケア」「シェーグレン症候群と唾液の関係」「義歯安定剤の剤型による効果の違い」など学生それぞれの個性がうかがえる多彩な内容となりました。

会場には1・2年の在校生も参加、先輩の発表に聴き入りました。

1年生は、初めての卒業研究発表会見学とあって「大きなステージで発表

している先輩の姿を見て緊張した」「参考文献資料として多数紹介されていたのは、歯科予防処置論・歯科保健指導論の教科書であり、普段の授業の大切さに気付けた」などの感想が出ていました。来年には自分たちも発表する2年生は「来年、自分たちがこのステージに一人で立ち、全学生の前で発表すると思うと今から緊張している」「臨床実習先・アルバイト先の歯科医院の院長先生や先輩歯科衛生士の方々が、研究や実験のサポートをしてくださっているの、10月から始まった臨床臨地実習意欲がより湧いた」など具体的な感想が出ていました。

歯科医療機器を学ぶ 1年生が国内研修旅行

1年生の国内研修旅行が6月3日に行われ、歯科医療機器総合メーカーのジーシーコーポレートセンター(東京都文京区)を訪問しました。

研修は、はじめに歯科衛生士さんによる歯ブラシ体験セミナーが行われ、ジーシーの歯ブラシやさまざまな種類

の歯磨剤を実際に口腔内で体験しました。

同社の歯ブラシや歯磨剤は歯科専売品のため、薬局やドラッグストアではあまり見かけません。学生たちは実際に口腔内で体験することができ、よい経験になりました。

その後、コーポレートセンターの館内を案内していただき、最新ユニットや歯科医療機器を見学しました。

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO
中央カレッジグループ

戴帽式に32人

夢に向かって新たな誓い

中央医療歯科専門学校高崎校の第5回戴帽式が7月21日に、結婚式場ヒカリアルコート高崎で行われ、2年生32人が新たな決意を誓いました。

戴帽式は、自ら選んだ歯科衛生士の道へ新たな決意を持って、天職として志し学ぶ姿勢を持ち続ける気持ちを仲間と共に確認する。そして、歯科衛生士への一步一步の歩みを止めることなく支えてくれた周囲の人々に感謝の気持ちを表し、医療人としての責任を持つ誓いを立てるものです。

式では、原和則学校長と黒田真右高崎市歯科医師会会長が、学生一人一人にナースキャップを戴帽、3年生の先輩からキャンドルの火が灯されました。

ナースキャップには、元来、自覚、責任、愛、信頼、感動、誇りの意味が、キャンドルには医療の精神・志を引き継ぐという意味が込められています。この灯を先輩から受け継ぐことは、その精神を絶やすことなく灯し続けていくということになります。

戴帽式に際し、中央カレッジグループの中島利郎代表からあいさつ、原学校長からは式辞、高崎市歯科医師会の黒田会長から祝辞をいただきました。これを受けて戴帽学生代表の谷川瑞稀さんを中心に、全員でこれから始まる臨地実習や国家試験に向け新たな決意を誓いました。



▲原学校長と黒田会長からナースキャップを受ける学生たち
▲全員で歯科衛生士への決意を誓う戴帽学生



楽しくSDGs研修 全学生参加で学び、発表

学園創立80周年を記念し、グループ校で取り組むCSCP (Chuo SDGs Challenge Project) の研修として、本校でも「Study」が4月23日に高崎市労使会館で行われました。

コロナ禍のためしばらくの間学校行事がありませんでしたが、本研修では、久しぶりに全学生が参加して行いました。

具体的には、SDGsについての知識を深めるため、カードゲームを用いて体験的に学びました。内容は大きく分けて経済・環境・社会についてで、ゲーム感覚で楽しく学びました。

この経験を踏まえ、「Discussion」が、26日に1年生、27日は2・3年生に対して行われました。学生個々が感じていることをカードに書き、発想法を用いてまとめて、活動宣言まで考え発表しました。この研修が、学生たちの意



カードゲームでSDGsの基本学ぶ



活動宣言など発表



研究発表を終えた学生たちと教職員

卒業研究を堂々と発表 研磨剤や歯周病など

3年生(卒年次)44人の卒業研究発表会が9月29日、高崎市総合福祉センターのたまごホールで行われました。

学生たちは、日ごろの学習をもとに、それぞれ興味のある内容をテーマに設定、調査研究し発表しました。

内容も、ホワイトニングや研磨剤、歯周病、乳歯などさまざまでしたが、発表はどれも聞きやすいものとなっ

ていました。会場には、1、2年生も見学参加し真剣に発表を聴いていました。

患者実習が始まる 口腔内を実践的に

戴帽式を終えた学生たちは、臨地実習に向けて患者実習に挑戦しました＝写真。

実習では、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、実際の医院での実習を意識し、行います。最初のうちは、実際に人の口の中を扱うことに不慣れなようでしたが、慣れてくると



歯周病の検査や染め出しなど真剣に取り組んでいました。この実習で、さまざまな点を吸収し、臨地実習に臨んでもらいたいと思います。

新任紹介

竹越 由佳先生
(歯科予防処置論)



やりがいの
ある日々

本校に勤務して数カ月が経過しました。これまで歯科衛生士として歯科医院で勤めてきましたが、教務という新しい分野に挑戦することで、より高く広く自分自身のスキルを上げたいと思いました。全てが新しいことばかりで不安な気持ちもありましたが、頼もしい先生方が一つ一つ丁寧にご指導してくださり、おかげで楽しく新鮮な気持ちで日々の業務を学ぶことができています。授業を任され、学生の未来を背負っているというプレッシャーを感じながらもやりがいがあり、学生とのコミュニケーションも楽しく充実した毎日となっています。まだまだ周りの先生方のお力をお借りしなければなら

ず、ご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、今までの経験を最大限に生かし、学生の国試合格に向けて精いっぱい頑張ります。よろしく願いいたします。

小保方 恵先生
(歯科実習補佐等)



臨床経験を
生かしたい

令和4年4月からCMSにお世話になっています。歯科衛生士として10年以上臨床に携わり、多くの医院で経験を積んできました。そうしたさまざまな経験を基に、人生の岐路にある学生たちへのサポート、アドバイスができればと思っています。

プライベートでは登山が趣味で、あちこちの絶景を堪能してきました。最近は行けていませんが、時間を見つけて登りに行きたいと思っています。皆さまどうぞ、よろしくお願いいたします。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央農業大学校では、新たな時代の農業を幅広く実践的に学んでいます。その知識と技術を生かして、就職活動でも早期内定が相次いでいます。内定者にインタビューしました。

内定先：株式会社スーパーバリュー

ファーム農業経営学科
6次産業化デュアルシステムコース

竹田 尚生さん
(長岡農業高校出身)



農家のサポート役に

▽内定先企業を選んだ理由

私は農業を勉強しているなかで、将来は農業資材の販売で農家の方のサポートをする仕事や生産された野菜を販売する仕事に就きたいと思うようになりました。希望する地域にこだわりがなかったため、どの企業にすれば良いのか悩んでいましたが、担任の先生に紹介していただきスーパーマーケットとホームセンターを融合した業態を展開する「株式会社スーパーバリュー」の存在を知りました。それがきっかけで会社説明会に参加し、地域に密着した店舗展開や各店舗各担当に大きな権限が与えられる個店主義である点などに強く興味を持ったため、「株式会社

新たな夢へ第一歩

就職内定者インタビュー

スーパーバリュー」で働きたいと思いました。

▽これからの夢

まだ、スーパーマーケット・ホームセンターのどちらに配属されるかは分かりませんが、いずれの場合もこれまで学んできた知識や経験を生かして、お客様目線のアドバイスで、次の来店動機に繋がるようなご満足いただける接客がしたいと思っています。また、個店主義のため配属された店舗や部門内のチームワークが重要になってくるので、上司や先輩だけでなくパート・アルバイトの方にも信頼していただけるような仕事をできるようにしたいです。

▽後輩たちへのメッセージ

専門学校の2年間はあっという間です。勉強・プライベートどちらにも全力で取り組み、汗を流し、最後は仲間とともに涙を流せるような充実した学校生活にしてください。また、就職活動に限らず悩むことがあったときは、一人で抱え込まずいろいろな友人・先生に相談してさまざまな視点からの考え方を聞いてみてください。そこにヒントがあるはずですよ。

内定先：株式会社アセラ

農業経営学科
農業ビジネス専攻

島田 悠里さん
(館林高校出身)



安全な野菜を食卓に

▽内定先企業を選んだ理由

私は専門学校で農業を学ぶうちに、農業と関連性がある人と深く接する機会のある仕事がしたいと考えようになりました。そんなとき学校の農業実習で雑草や病害虫の被害に遭い、農薬を使用する機会があり、農薬はたいへん便利な存在である一方、誤った使い方や過度な使用をすれば人間にとっても環境にとっても危険で厄介な存在となることを知りました。人間や環境への負荷を軽減しつつ、効率的においしい野菜を食卓へ届けたい。その思いをかたちにする仕事として、農薬を扱う株式会社アセラの試験を受けることを決めました。プライベートも充実したメリハリのある社会人生活を送りたいと思っていたので、福利厚生が充実していたこともポイントです。

▽これからの夢

農業では地域や作目、環境によって発生する病害虫や雑草が異なります。一人一人のお客様に合わせた適切な情報の提供と商品提案をして、安全でおいしい野菜を食卓へ届けてくださる農家の方の助けとなることが私の夢です。いつか生まれる私の子どもや孫の代になっても、安全でおいしい国産野菜を口にすることができるよう、人間と環境にやさしい農業の実現へ貢献していきたいです。

▽後輩たちへのメッセージ

就職活動は積極性が重要です。少しでも気になる企業があれば実際に足を運んで自分の目で見て雰囲気も感じてください。面接試験では、用意した内

容をしっかりと伝えることも大切ですが、相手の方の質問内容や場の雰囲気に応じて伝え方や表現方法を工夫することも重要です。普段から臨機応変に行動できるよう心がけておきましょう。

内定先：株式会社セキチュー

ファーム農業経営学科
6次産業化デュアルシステムコース

山田 唯さん
(藤岡北高校出身)



多くの人に接したい

▽内定先企業を選んだ理由

私は高校、専門学校と農業を学んでいくなかで農業に関わる仕事に興味を持ち、人と関わることが好きだったため、ホームセンターなどの小売店へ就職したいと考えていました。いくつかの企業説明会へ参加しましたが、普段からよく利用している身近な存在で、農業用品だけでなく日用品なども販売していてご来店されるお客様の層が広く、多くの方と接する機会のあるセキチューを選びました。

▽これからの夢

農業者の方から家庭菜園を楽しむ方まで幅広いお客様がいらっしゃるの、学校で学んだことをベースに、お客様へ適切な情報提供をするために必要となる農業の知識・技術の習得にはげみ、コミュニケーション能力も高めお客様にご満足していただけるようなサービスを提供することが私の夢です。

▽後輩たちへのメッセージ

就職活動は早めの行動が重要です。まずはいろいろな企業のホームページを見ることから企業研究をスタートし、面接試験では表情豊かに特に笑顔を大切にしてください。面接の段階になって急に声の大きさなどを変えることは難しいので、普段から明るくハキハキ大きな声で話すことを心がけるとよいと思います。



月替わり限定メニューの開発に挑戦、採用された学生たち

秋の月替わりメニュー開発 学生たちがステーキ&ハンバーグ店と連携

農業ビジネス専攻2年生の学生が、ステーキ&ハンバーグレストランGGCの月替わり限定ハンバーグメニューを開発。2品が9月の月替わりメニューに採用されました。

このメニュー開発は企業連携実習の一環として取り組んでいるものです。お店の方から経営理念・商品コンセプトなどを伺った後、開発を開始。その後、試作・プレゼンを繰り返し、改善点のアドバイスをいただきながらメニューを仕上げました。

今回の採用されたメニューは、寺西勇樹さん(東京・篠崎高校出身)の考案した「炙りモッツァレラチーズのイタリアンハンバーグ」と金井日菜子さん(伊勢崎興陽高校出身)の「たっぷりキノコのてりたまバーグ」です。

学生たち自ら考案したメニューの商品化は貴重な体験で、やりがいにも繋がります。今回の経験を踏まえ、学生たちは次回のメニュー開発・商品化に向け取り組んでいます。

有機農産物JAS 講習会を受講

学生を対象とした有機農産物JAS講習会が8月23日に実施されました。NPO法人日本オーガニック認証協会の講師による講義に、学生たちは有機JAS制度をより深く理解すべく耳を傾けていました。

この講習会は「新しい農業ビジネスの創造」、「環境保全型農業の実践」を



学生対象の有機JAS講習会

図ることを目的に実施しています。この講習会終了後、受講した学生一人一人に「修了証」が手渡されました。

群馬イノベーションアワード (GIA) 2022

関東経済産業局長賞・部門賞 加藤さん(2年)がダブル受賞

「ボイセンベリー垣根で作物を鳥獣害から守り副産物を加工・販売する」

最終審査で堂々とプレゼン

次代を担う起業家や起業精神を持った人材の発掘を目指す「群馬イノベーションアワード (GIA) 2022」(主催・上毛新聞社、共催・田中仁財団)の最終審査が12月4日、前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で開かれ、ビジネスプラン・スタートアップ・イノベーションの3部門に16組が出場、希望あふれるアイデアや事業展開をプレゼンテーションしました。

ビジネスプラン部門「大学生・専門学校生の部」最終審査に臨んだ本校農業経営学科2年の加藤貨代さんは「ボイセンベリー垣根で作物を鳥獣害から守り副産物を加工・販売する」をテーマに、堂々と発表、部門賞(部門最高賞)に入賞、併せて全出場者対象に選ばれる関東経済産業局長賞に輝きました。このダブル受賞は、本人の着眼点の良さ、事業展開のアイデア、そこに向けての努力の成果です。加えて、指導・支援した本校教職員、周囲の人たちの力があっての栄誉ともいえます。

群馬イノベーションアワードは、今年で10回目の開催。今回は1次審査に522組がエントリー、書類選考を通過した50組が2次審査(10月22日)に進出。加藤さんを含め16組が、最終審査に臨みました。「ビジネスプラン部門/大学生・専門学校生の部」には3人が選ばれ、加藤さん以外は大学生でした。本校からは4人目のファイナリスト。

加藤さんのプランは、農作物の鳥獣被害、特に獣害被害の対策として、成長が早く、鋭いとげを持つボイセンベリー(キイチゴの一種)の苗木を農家に提供、垣根として使ってもらい作物を獣害から守ることを基本にしています。さらに、収穫した多くの栄養素を含む果実を買い取り、ジャムなどに加工し販売、その利益を苗木生産、資材

購入などに回すというものです。また苗木の栽培には耕作放棄地などを考えています。プレゼンでは、鳥獣被害の実態、ボイセンベリーの特性、プランの収益性などを規定時間3分で説明しました。

既に、ボイセンベリー垣根については特許を申請しています。

プレゼンターとして登壇した関東経済産業局長の太田雄彦局長は、「鳥獣被害は深刻なものがああります。その現実立ち向かう中央農業大学の加藤さんの若い力に期待しています。実現性を危惧(きぐ)する声もあったと聞きますが、優れた提案であることは、今後の活躍で証明される。何としても頑張ってもらいたい」と加藤さんにエールを送りました。

加藤さんの努力を見守ってきた木村剛学校長は受賞について「この栄誉は、加藤さんの日ごろからの農業に対する課題意識、GIAへの挑戦とひたむきな努力、支えてくださった多くの先生方のご指導の賜物であり、誠にうれしく思います」と語っています。



「関東経済産業局長賞」に輝いた加藤さん(左隣)はプレゼンターの太田雄彦局長。

上毛新聞社提供



「部門賞」に決まり、出場者から祝福される加藤さん。

加藤貨代さんのコメント

この経験を力に

ファイナルステージの舞台は、とても緊張しました。しかし、私の農業に対する強い思いと、この日まで、プレゼンテーションの資料作成から発表練習まで連日ご指導してくださった先生方の思いを胸に舞台に立ちました。人前で話すことが苦手な私ですが、数々の思いに精いっぱい努力で応えたかったです。関東経済産業局長賞と部門賞は、今まで先生方と取り組んできたことが報われた瞬間でした。今あらためて振り返ってみると、GIAへのエントリー、2次審査、ファイナルステージまでの時間は私にとって、とても有意義でした。今後、この経験が必ず私の力になると思います。本当にありがとうございました。

中央農業大学校 6次産業化施設

中央フレッシュフーズ株式会社

新鮮果実が主役の品ぞろえ

フレッシュサンドからタルト、パフェまで

工場・直営売店
住所: 〒370-0012 高崎市大沢町227-1
TEL 027-386-4382 <https://chuo-fd.jp/>



種類も豊富で人気のフルーツサンド⑤、お土産にも最適なフルーツタルト⑥

※「果実工房ありさか」の営業時間は平日が午前10時から午後7時、土・日・祝日は午前9時半から午後6時。定休日は、年末年始と工場点検日。

さあ
かり

果実
工房

通販など視野に
新たな取り組み



工場直営店「果実工房ありさか」

フレッシュサンドなどを製造販売する中央フレッシュフーズ株式会社(工場・高崎市大沢町)が、令和4年3月末にオープンさせた直営店舗「果実工房ありさか」が、11月で開店8カ月を迎えました。

「ありさか」は、新鮮果実が主役の品ぞろえ。定番のフルーツサンドが約20種類、フルーツタルト6種類、プリンや杏仁豆腐(フルーツ杏仁)、

カットフルーツなど多彩です。季節によって、フルーツパフェなど新製品も登場しています。イチゴフルーツサンドは12月から店頭と並んでいます。

利用者の中には、催し物や手土産用に、希望の品を組み合わせ、セットにして購入するケースもあり、お店では要望に柔軟に対応しています。これも品ぞろえが充実した結果

だといえます。

来店者の反応も「これだけフルーツが入って、この値段はお安い」「手土産に、手軽でよい」「季節商品のパフェが大好き」などと好評です。

店内には中央カレッジグループの中央農業大学校が栽培、製品化したお米「はたちのコシヒカリ」なども展示販売されています。同店は、同校学生たちの販売実習の場としても役立っています。また、1月18日から24日に高崎高島屋で開かれる「群馬展」でも販売します。

◇販路も拡大、通販にも挑戦

中央フレッシュフーズでは、店売だけではなく、新たな販路を開拓。現在、県庁や群大病院の売店、JAファーマーズ、グループ校、近隣の私立大学などでも販売しています。

今後は、同店や扱い販売場所に足を運べない購入希望者に向け、「ネット通販」なども視野に、新たな計画を進めていきます。

学校法人 中央総合学園 専門学校

CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

CID EXPO 2023

2月25・26日に Gメッセ群馬で 学生の「技術力」発信

中央情報大学校は、学生の学習成果を披露する「CID EXPO 2023」を2023年2月25、26日にGメッセ群馬で開催します。初開催の昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のため学生と家族、学校関係者のみの来場でしたが、本年度は広く一般の方にも来場いただき、多くの方々に楽しんでいただく予定です。

「CID EXPO 2023」は、作品展示などを通して、学生の技術力を「見て」「触れて」「体験して」「知ってもらう」イベントです。本校の強みである、情報技術分野、デザイン分野、電気通信分野の技術を集結させ、学科横断のプロジェクトチームで研究開発を行っています。プロジェクトの中には、数年計画で取り組んでいるものもあり、大規



模かつ深い研究内容となっています。各ブースは、来場者の方々に楽しんでもらえる参加型の展示を中心に展開。ステージイベントでは、プログラミングコンテスト、eスポーツ大会、留学生による日本語スピーチコンテストなど、参加型のイベントを企画して

います。サブエリアでは、キッズプログラミングコーナー、次世代職業イメージを体験できるDXコーナーなど、体験型イベントを実施。多くの方々に楽しんでいただけるよう、本番に向けさまざまな準備をしています。皆様のご来場をお待ちしています。

中央情報大学校 教育連携 糸井ホールディングス



教育連携の協定書を持つ
中島理事長(右)と糸井社長(左)

動画による情報発信 デザイン作品に期待

中央情報大学校(中島慎太郎理事長・学校長)と糸井ホールディングス(糸井文之社長)は、6月21日に地域発展と人材育成を目的とした教育連携の協定書に調印しました。

連携協定に際し、中島理事長と糸井社長は、情報通信やデザインを学ぶ学生の若い力とeスポーツ施設や野球の独立リーグチームを有する企業との新たな出会いに期待を示しました。

調印後は、「地域発展のために、互いのノウハウを活用し、人材育成を図りたい。まずはイベント運営や作品制作などで協力していただくことになる」と、糸井社長は話していました。

当面は、来年2月に同社が運営に参画する「Gunma eスポーツアワード(GeA)」(上毛新聞社主催)に向けて、ロゴマークなどデザイン、運営協力、動画による情報発信などの多彩な連携が期待されます。

さらに、今後はWeb制作やチラシの制作、スポーツやイベントへの協力など、実務に基づいた実践的な連携を進めていくこととなります。



GeA関連イベント席上でロゴマークが紹介された内田さん

「GeA」ロゴマーク 内田さんの作品選出

教育連携の第1弾として、「GeA」のロゴマークデザインの制作を行いました。デザインは学生31人から35点が出品され、同社と上毛新聞社による選考により、クリエイティブデザイン学科2年内田菜々さん(わせがく高校出身)の作品が選ばれました。主な選考理由は「温かみのある色使いと印象的なデザイン」です。

▽内田菜々さんコメント

「親子やチームメイトをイメージして、繋がりや仲間を表現しました。新しいことに挑戦し評価され、とてもうれしいです。」

初音ミク「マジカルミライ」 10th Anniversary プログラミング・コンテストで入選 初参加の本校チーム

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社が主催するプログラミング・コンテストで、本校学生チームの作品が全68の応募作品の中で入選10作品の1つに選ばれました。このコンテストは、初音ミクの楽曲にあわせて歌詞などの映像演出が魅力的に動くWebアプリケーションの完成度を競うものです。

本校は初参加で、デザイン系学科と情報系学科の学生共同チームで臨みました。映像演出やイラストをデザイン系、Webアプリケーションプログラムを情報系が担当し、学科ごとの得意

分野を生かして共同開発を行いました。コンテストでは受賞は逃しましたが、初参加で初入選という結果は大きな自信になりました。今後も、学科の垣根を超え、学校全体でチームとしての取り組みを行っていきたいと思います。

【参加チームメンバー】

油家海広(情報システム学科2年・前橋商業高校出身)、加納丈大(クリエイティブデザイン学科2年・前橋工業高校出身)、佐藤曜(クリエイティブデザイン学科2年・既卒)、蛭名優杏(ポップカルチャー学科2年・西邑楽高校出身)



※作品はQRコードを読み取ってご覧ください。

サイバーパトロールコラボレーター 県警から学生5人に委嘱状 通報件数も格段と増加

群馬県警のサイバーパトロールコラボレーターに本校学生5人が委嘱されました。委嘱は5年連続。6月9日には、群馬県警で委嘱式と研修会が行われました。

サイバーパトロールコラボレーターは、インターネット上の有害情報を通報する活動や啓蒙活動などを行うボランティア活動です。

その活動に際し、本校学生が有害情報を自動で収集し通報するシステムをつくり、大きな話題となっています。システムは日々アップデートされ、昨年の通報件数は約3万件でしたが、今年7月のみの通報件数で約12万件の通報を行うことができ、大幅に性能が向上しました。

この活動は、NHK総合テレビの情



NHKの取材を受ける本校の指導教員

報バラエティ番組「所さん!事件ですよ」の取材対象となり、番組中でも取り上げられました。

今後は有害情報の幅を更に広げるだけでなく、この技術を他の分野に応用して新たな課題解決につながるようになっていきます。

さらに、「学生」という立場でありながらも、サイバーパトロールのように、社会のためになることが、具体的にできることを実感してもらいたいと思います。

活 C S C P 動

中央キッズサマーパッケージ

専門学校の学習生かし学童教室 6日間で小学生103人が参加



プログラミングを学ぶ小学生



本校では、CSCP (Chuo SDGs Challenge Project) の取り組みとして、8月3～5日、8月24～26日の6日間、「中央キッズサマーパッケージ」と題し、小学生を対象に「夏休み学童教室」を開催しました。

この活動は、SDGs達成に向けて自分たちができることを、学生が主体となって考えた企画案の中から選ばれたものです。SDGsが目指す17の目標の

うち「4 質の高い教育をみんなに」「8 働きがいも生きがいも」を主なゴールにしています。

本校の専門分野であるプログラミング、デッサン、イラスト、電気などの体験を通して子どもたちに学ぶ楽しさを提供。保護者の方々には、長期休暇中の数日間子どもたちを学童保育で預かることで、子どもがいても安心して働ける環境づくりへの貢献になると考えました。

また、グループとしての強みを生か

し、中央カレッジグループ4校（中央情報大学校・高崎ビューティモード専門学校、中央医療歯科専門学校高崎校・中央動物看護専門学校）が協力し、ヘアメイク教室、歯磨き指導、動物とのふれあい体験なども行いました。

今回は6日間で総勢103人の小学生が参加。その際に、チャリティ募金のご協力をお願いしたところ、58,732円の募金をいただくことができました。募金は、経済的困難を抱える子どもたちに教育の機会を提供している公益社

団法人チャンス・フォー・チルドレンに寄付しました。この活動は、夏休みだけでなく、春休みにも実施する予定です。

本校の80周年事業 (リカレント教育など)

- ★情報教育課：余った食材で作れる料理レシピサイト。公開時期は未定。
- ★デザイン教育課：①学園祭で作品を展示。2年生がエコバッグのイラストデザイン。1年生がエコバッグのカタチをデザイン。両学年とも参加者に投票してもらい、CID EXPOで結果発表。2年生のイラストデザインに関しては、エコバッグにプリントし販売することを目標とする。②動画制作のコンテンツを4本制作、サイトで公開。8月23日に対面講座開催。動画制作手法をレクチャー。
- ★電気通信教育課：効果的な節電方法を普及するためのWebサイト制作。CID EXPOで展示予定。

「電験三種」に林さん、芝崎さん合格 電気関連国家試験に合格相次ぐ

電気通信学科では、難関の「電験三種」のほか、「工事担任者総合通信試験」や基本資格である「第二種電気工事士」などの国家資格取得を目指しています。本年度も続々と合格の報告が寄せられています。

8月21日に行われた「第三種電気主任技術者試験（電験三種）」には、電気通信学科2年の林亮太さんと芝崎晃靖さんの2人が合格しました。「電験三種」は、理論、電力、機械、法規の4科目すべての合格で最終合格となる電気分野の国家資格の中でも非常に難易度が高い資格です。

本学科では、動画教材、オリジナルイラスト教材や、スマートフォンを活用したチェックテストで徹底サポート

し、昨年度（1人）を上回る2人の最終合格者を出すことができました。

資格の中には、当該資格者がいることによって企業が業務を請け負う際の審査の評価に貢献できるものもあり、資格を持つだけで就職に有利に働きます。本学科では、難関資格の取得はもちろん、取得した資格をどう生かし、どう働くかまで見据えた教育に取り組んでいます。

〈各資格試験合格者（敬称略）〉

【電験三種最終合格】林亮太（電気通信学科2年、渋川工業高校出身）、芝崎晃靖（同2年、伊勢崎工業高校出身）

【電験三種科目合格】9人：田中修穂（電気通信学科2年、高校認定試験）、大島和真（同2年、藤岡中央高校出身）、



「電験三種」に合格した林さんと芝崎さん

鈴木和宏（同1年、社会人入学）、頼富陸（同1年、前橋工業高校出身）、大出真二（同2年、足利大学附属高校出身）、中山太一（同2年、藤岡工業高校出身）、友野天翔（同）、角田京介（同1年、わせがく高校出身）、山岡孝輝（同1年、館林高校出身）

【工事担任者総合通信試験】林亮太（電気通信学科2年、渋川工業高校出身）、吉田健人（同2年、足利大学附属高校出身）

【第二種電気工事士】18人（留学生含む）
【2級電気施工管理技士補】14人

伸び率2.6倍の学生も タイピングコンテスト

選択科目MOS Wordの授業では、社会人として必須のビジネススキルを習得させることを目的に、タイピングコンテストを6月1日に実施しました。

速さと正確性を競う「絶対王者部門」と、スピードの伸び率を競う「伸び率王者部門」の2部門で実施。

4月開講時の平均が10分間で378文字でしたが、「絶対王者部門」1位の学生は、1,042文字でした。「伸び率王者部門」1位の学生は伸び率が2.6倍になりました。

楽しみ競い合える環境を提供するという工夫一つで、学生たちは自ら進んで学習し、学びの吸収率を大きく上げることができた好事例となりました。



「伸び率王者部門優勝」廣木海璃さん（情報システム学科1年、高崎商業高校出身）
「絶対王者部門優勝」吉橋出雲さん（情報システム学科1年、深谷商業高校出身）

動画制作の依頼続々

本校に公共団体などから動画制作の依頼が届いています。

◇群馬県警キャンペーン動画◇ 「振り込め詐欺被害撲滅」

高度ICTデザイン学科、クリエイティブデザイン学科、ポップカルチャー学科は、群馬県警からの依頼を受け、振り込め詐欺被害撲滅キャンペーン用の動画を制作しました。特殊詐欺の定義を警察官の方に教えていただき、学生たちは特殊詐欺について深刻な問題だということを強く認識し、「学生の視点ならではの訴えかけを作品に込めたい」との思いで、犯行の手口ではなく犯行に手を染めてしまう「同じ若者」の経緯を物語にすると決め、作品制作に取り組みました。

この動画は群馬県動画「tsulunos（ツルノス）」内にて視聴できます。



◇群馬県こころの健康センター◇ 「相談窓口案内アニメ」

群馬県こころの健康センターから、心の悩みについての電話相談窓口を案内する動画制作の依頼を受け、アニメーションを制作しました。ストーリーは、落ち込んでいる高校生が電話をしたことで、気持ちがスッキリして元気になったという内容で、笑って見ることができる1分程度の作品です。

企画シナリオ、キャラクターデザイン、動画編集などをポップカルチャー学科2年生の学生4人が担当しました。また、声優としてクリエイティブデザイン学科1年生2人が担当し、学年や学科を越えて学生が連携して制作を行いました。作品は、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」で配信されるほか、デジタルサイネージなどの電子看板でも放送される予定です。監督を担当したポップカルチャー学科2年の有吉光さんは「落ち込んだ時に思い出せるようコミカルな作品を目指しました」と話してくれました。

ポスターデザイン募集で 2作品が最優秀賞に輝く

ポスターデザイン募集で、本校学生の2作品が最優秀賞に輝き、ポスターに採用されました。

その作品は、高崎市主催「高崎まつりボランティア」募集ポスターと伊勢崎市観光物産協会主催「伊勢崎市観光特使ひまわりコンテスト」募集ポスターです。



高崎まつりボランティア募集ポスター採用作品…
櫻井柚菜さん（クリエイティブデザイン学科2年、安中総合学園高校出身）



ひまわりコンテスト募集ポスター採用作品…
伊藤英次さん（高度ICTデザイン学科3年、吉井高校出身）

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

TBM LIVE OF ART 2022 ~人生を変える出会い~

高崎ビューティモード専門学校恒例のヘアショー「TBM LIVE OF ART 2022~人生を変える出会い~」が、7月16日に高崎エテルナで開催されました。舞台は、8つのステージで構成され、ステージごとにクリエイティブな発想でテーマを決め、ヘア・メイク・衣装・振付け・舞台構成・音響まで教員のアドバイスを受けながら作り上げました。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策をとって人数制限などはありませんでしたが、3年ぶりに高校生だけではなく、関係者や保護者の皆さまにも観覧の機会を設けました。おかげで、来場の皆さまの協力のもと無事実施することができました。

舞台では、入学して3カ月の1年生と技術に磨きをかけた2年生が短期間の中でモデルの衣装からヘアスタイル、また舞台演出や音楽のセレクトまで、学生が主体となりイメージに合ったステージを作り上げました。モデルになった学生たちは魅せるウォーキングを研究し、日ごろの学習成果を発表することができました。また職員もショーのカメラワークに参加し、360度からステージを映し出していました。

恒例となっている高崎OPAとのコラボレーションステージに加え、今回は美少女図鑑のモデル参加もありました。

今回のステージも本校の伝統継承と、次世代の新しい感性を融合させた素晴らしいものになりました。

ステージ紹介

1 / Opening Stage



夕カピトレンド!
カルチャー発信

2 / Dance Stage



言葉のいらない
コミュニケーション

8ステージで 美と技術披露

3 / Hair & Make Stage



運命を変える彩

4 / Wedding Stage



ラブストーリーは永遠に

5 / Japanese Dress Stage



日本人の心、
纏う楽しみ

6 / Cut Stage



プロフェッショナルへの道

7 / Collaboration Stage



高崎オーパ
人気ブランドコラボ

8 / Collaboration Stage



群馬美少女図鑑モデルも



1、2年生がCSCP研修

「自分たちのSDGs」学ぶ

中央カレッジグループ創立80周年記念事業として、学園独自カリキュラムで取り組むSDGs達成に向けたCSCP (Chuo SDGs Challenge Project) があります。

この活動は、環境問題や経済格差、紛争など世界中で多くの問題が発生している今、自分たちに何ができるのかを考え、学生が主体性をもってさまざまな社会貢献活動を展開し、それを通じて『体験から学ぶ』ことの大切さを理解し、『自ら学び、自ら行動する』ことで主体性を育て、それぞれの意識変容・行動変容につなげていくものです。

本校では、国際美容師学科1・2年生、国際ビューティ学科1・2年生の学生が、5月10日から12日にかけて研修を行いました。

1年生は5月10日、2年生は11日に中央情報大学の村椿仁副校長を講師



講師からSDGsの目的学ぶ

に、高崎市労使会館で、SDGsはどのような活動が行われているのか学びました。最初に講義をしていただき、午後にカードゲームを、2人1組になり、1チーム13組の大きなグループをつくり、3チームに分けて行いました。最初はSDGsについて分からないまま始まりましたが、カードゲームのため学生はすぐ行動を起こして進めていくことができました。

どのチームも、最初に講義で学んだため、何が必要か、どんな可能性が生まれるのか、それぞれの気づきを学ぶ



学びの成果を自分たちの活動として発表

ことができました。

2日目は、発想法で課題・問題のグループ化をディスカッションしグループワークを行いました。テーマを実行するための活動計画を立て、活動宣言を立案。それを発表をし、意見を共有しました。

今後は、この日決まった取り組みを行っていきます。CSCP研修で『体験から学ぶ』『自ら学び、自ら行動する』ことを学んだ学生たちの具体的な行動を期待していきたいと思います。

SNS有効活用を部活で「TBMバス部」誕生

「SNSを学び、有効活用しよう」。集客など念頭に学生たちが学ぶ部活「TBMバス部」が誕生しました。



現在の美容業界では、SNSを使用した集客が一般的になっています。美容室によっては、専門学校在学中のSNSフォロワー数が内定に大きく関わるところもあるようです。

このような社会に対応し、「自身を売り出す力」「SNSでの集客の方法」などを学生に身につけさせ、「SNSでバズる(=インターネット上でロコミなどを通じて一躍話題となる)」ことができる人材育成をするため「バス部」を立ち上げたものです。

本校に、本年度も多くの仲間が加わりました。夢に向かって一歩を踏み出した学生にインタビューしました。

夢に向かって

新入生インタビュー

国際美容師学科
1年Cクラス

黛 杏香さん
(桐生女子高校出身)

美容師に強い決意

私は幼い時からおしゃれが好きで、将来は人をきれいにしたい仕事をしたと考えていました。

一度は美容師の夢をあきらめ、全く違う進路を目指したこともあります。しかし、夢をあきらめられずに、短大を卒業後、美容師になることを決意して本校に入学しました。

美容師の資格に加え、ヘアメイクや



着物など自分の興味のあることをたくさん学ぶことができ、充実した日々を過ごしています。

この2年間で専門的な資格取得をすることは大変ですが、夢に向かってまい進したいと思います。

国際ビューティ学科
メイクアーティストコース1年

中野 凛音さん
(東京農業大学第二高校出身)

メイクの力を信じて

小さいころからメイクが好きで、メイクを主とした仕事に就きたくて本校に入学しました。

ビューティーアドバイザーとしてクライアントの要望を聞き、似合う化粧品を提供することでたくさんの方を笑顔にさせたいと思っています。また美しくなるだけではなく、傷などで悩みを抱えている方にもメイクの力で寄り添える技術者になりたいです。



国際ビューティ学科はメイクだけではなく、ネイル・エステ・ヨガなどトータルビューティを学ぶことができ、毎日が充実しています。一つ一つの分野をしっかりと学び、将来の選択肢を広げられるよう夢に向かって努力していきたいと思っています。

通信生「実技」100%合格

美容師国家試験

第46回美容師国家試験が行われ、本校通信課程の学生が受験しました。8月6日に群馬理容専門学校で実技試験、9月4日に東京流通センターで筆記試験の順で行われました。

実技、筆記試験とも、日々の練習の成果を発揮すべく、緊張の面持ちで会場へ向かい、全員が無事に試験を終えることができました。

事前の国家試験対策授業や練習など、日々の努力を経て受験した国家試験の後には、達成感に満ちあふれた表情を見せていました。なお、今回は実技



事前の国家試験対策授業

100%合格を達成しました。受験者に対する合格率は85.7%。同試験の全国平均合格率は、60.5%。本校の成績は、大きく上回る結果となりました。

プロに学ぶ 職業実践専門課程

本校では、職業実践専門課程の一環として、専門知識や技術を有する“プロ”を講師に招き、学生に新たな学びを提供しています。

メイクアップアーティスト 佐藤健司さんの技に感動

国際ビューティ学科



佐藤さんの指導を受ける学生たち

国際ビューティ学科1、2年生対象に、世界的に有名なメイクアップアーティスト佐藤健司さんの職業実践授業が6月21日に行われました。

佐藤さんからは、エアブラシを使用したメイク技術を指導していただいただけでなく、メイク業界・活躍されるまでの軌跡など、さまざまなことを学ぶことができ、学生たちにとってとても良い経験をすることができました。

カラー技術やスタイル学ぶ

国際美容師学科

国際美容師学科2年生対象の職業実践専門課程の授業が、5月23日と30日に行われました。

講師に、伊勢崎にあるサロン「クレオ」の方を迎え、カラー技術とヘアスタイル技術の授業を行いました。



プロの技術を学ぶ学生たち

カラーでは塩基性カラー塗布、ヘアスタイルでは学んだ技術を相モデルで作成をして、撮影テクニック技術の手順から施術するにあたっての注意点など、実際の現場で行われている美容師のプロの技や、普段の授業とは違うクリエイティブな技術を学ぶことができました。学生たちは美容師の技術を目の当たりにし、大きな収穫を得たようです。

卒業生の現在

20

今回、紹介する卒業生は、19期生の新井大記さんです。現在、都内でヘアスタイリストとして活躍中です。



「LAND」|| 東京都豊島区東池袋
新井 大記さん (19期生)

(国際美容師学科
ヘアスタイリストコース卒業)

髪型は、人生まで変える

新井さんは、国際美容師学科ヘアスタイリストコースを卒業し、通常3~4年かかるスタイリストとしての練習期間を、わずか半年で通過し、デビューを果たしました。

交通アクセスのよい本校で授業はもちろん、学校以外の時間も有意義

に過ごした新井さんは、デビュー月に、全店で100人以上いるスタイリストの中でトップ10に入る売り上げを記録したそうです。

「髪型を変えることはお客様の人生まで変えます。この仕事に日々やりがいを感じています」と、熱く語る新井さん。

今後のさらなるご活躍をお祈りしています。

カラーブームで知られる みやちさんが特別講演

1、2年生の就職ガイダンス

就職ガイダンス特別講演として、東京渋谷の有名サロン“SHACHU”代表・みやちのりよしさんがエテルナ高崎ヴァンパルで5月13日、本校の国際美容師学科1、2年生を対象に最新のカラーデモンストレーションとトークショーを行いました=写真。

みやちさんは、麻生太郎副総理兼財務相が会長を務める“髪ノミシユラン”で2021年に続き2022年は2つ星を受賞。現在のカラーブームの火付け役として有名な人物。



講演では在校生をモデルに最新技術を披露しながら“口はマスクで塞がれていても、心は開放しよう”などとコロナ禍で不安を抱く学生たちに力強いメッセージを送りました。

同日、午後に行われた就職ガイダンスの参加企業は東京、神奈川を中心に県外32社。学生たちは、熱心にブースを訪れ、話を聞いていました。

学校法人 中央総合学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校

CAN中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央動物看護専門学校では、令和4年度に動物看護・動物飼育の2学科に40人を超える新入生を迎え新たなスタートを切りました。また、両学科の卒業予定者の就職状況も順調で、内定者も相次いでいます。新入生と就職内定者の声をご紹介します。

新入生

動物看護学科1年
松倉 朱里さん
(桐生市立商業高校出身)



人間や動物の気持ちを支えたい

▽愛玩動物看護師を目指そうと思った理由

昔、飼っていたウサギが亡くなった際にペットロスになり、何もしてあげられなかったことにとっても悔しい思いをしました。自分と同じペットロスに陥った人の心や動物の気持ちを理解し、サポートできる人になりたいと思いました。

▽本校を選んだ理由

少数の動物を飼育し、動物の異変にすぐに気付くことができる力を養うことができ、先生との距離も近く、気軽に相談できる環境が良いと思い本校を選びました。

「どうぶつ眼科基礎」 藤本院長が特別授業

動物看護学科2年生を対象とした「どうぶつ眼科基礎」の特別授業が5月16日に行われました。講師は藤本アニマルクリニック（高崎市）の藤本和弘院長にお願いしました。

講義では、犬・猫の目の構造、検査内容について学びました。藤本先生は、学生に対して質問や実践を交えて指導していただき、分かりやすく学ぶことができました=写真。

実習では、講義で学んだ「視覚があるか」の検査（眼反射）や、「涙量検査」など普段見ることのできない検査を見学。また、眼圧検査では実際に測定器を使用し犬の眼圧を測定しました。学生たちは初めて使う機器に緊張しながらも真剣に取り組んでいました。

夢に向かっ て 期待込め新たな一歩

動物飼育学科1年
高倉未来登さん
(伊勢崎高校出身)



多くの動物を飼育したい

▽動物業界を目指そうと思った理由

動物飼育学科に進もうと思ったきっかけは、幼いころから動物のお世話をすることが大好きだったからです。授業や校外飼育実習で多くの動物知識を身に付け、動物業界に進み、数多くの動物を飼育したいです。

▽本校を選んだ理由

本校に入学を決めた理由は、オープンキャンパスに参加した際に進路の悩みや資格について、先生や先輩たちに丁寧に優しく教えていただいたことが一番のきっかけです。また、先生と先輩たちの距離がとて近く、悩み事などが相談しやすいと感じたことも理由の一つです。



今回は、先生の「保定を担当することが多いスタッフにこそ覚えておいてほしい」という思いから、眼科ならではの首を圧迫しない保定方法も教えていただきました。

学生たちが目指す愛玩動物看護師国家試験は2023年2月19日に実施されます。眼科検査の問題が出た際には、全員が正解できるよう、今回の学びを生かしてもらいたいと思います。

就職内定者

いしかわ動物病院

動物看護学科2年
鳥山 美侑さん
(高崎健康福祉大学
附属高校出身)



実習の評価で採用内定

内定をいただいた際の採用理由が、動物病院での実習中に自分で気を付けていたところや、自分の長所だったので、うれしかったです。

動物病院で働くようになった時には、言葉遣いが丁寧で明るく、飼い主さんがなかなか伝えにくいことも相談してもらえるような信頼される愛玩動物看護師になりたいです。

Coo & RIKUイオンタウン佐野店

動物飼育学科2年
長尾 政輝さん
(わせがく高校出身)



実習で仕事に魅力感じる

Coo & RIKUイオンタウン佐野店でインターンシップ実習をさせていただいた際に、接客業が自分に合っていると感じることができました。お客さまと動物について会話や、好きな動物の飼育管理ができ、この仕事にとっても魅力を感じました。将来、店長やエリアマネージャーになり、全体をマネジメントできる人材になりたいです。残りの学校生活で、検定取得やコミュニケーション能力の向上を目指し過ごしていきます。

メディアシップサファリ新潟

動物搬入、解説などボランティア

1、2年生35人が参加

動物飼育学科1、2年生、計35人が7月2、3日の2日間、新潟日報社主催のイベント「メディアシップサファリ」にボランティアとして参加しました。

この催しは、群馬と新潟の県間交流事業の一環で、移動動物園（株式会社青空）協力のもと開催。ボールパイソンやフトアゴヒゲトカゲなどの爬虫類、モリフクロウといった猛禽類、カピバラやアルパカなど計25種、50頭羽以上の動物たちと触れ合えました。

学生たちは、イベントの手伝い以外にも動物たちの搬入を移動動物園の方と一緒にしました。搬入は、動物たちを車から会場まで移動させるため細心の注意が必要な作業です。なかなか経験できない体験ということもあり学生全員が真剣に取り組んでいました。

イベント中は各動物のエリアに分かれ、生態管理や来園されたお客様に動物の説明、触れ合い方法の説明、受付や販売コーナーでの名産物販売などイベント全般を経験できました。学生たちは、事前に動物たちの生態情報を調べていたため、お客様の質問に慌てる



動物エリアで来場者に説明する学生

ことなく、丁寧に笑顔で答えている姿が見られました。今回のボランティアを通じて、イベント運営の内容、接客業務などを学べたことは、今後の就職活動にも生かせると思います。

前橋でもボランティア活動

1年生9人が、6月26日に犬猫タウン前橋で実施された七夕飾りのボランティアに参加。折り紙を使った飾りつけに加え、保護活動のポスターを制作しました。また、地域のボランティアさんらの指導のもと、竹灯籠（たけとうろう）作りにも挑戦させていただきました。7月2日には、第1回「犬猫ふれあいデー」も実施され、本校から学生3人が参加。先日の作品が並ぶ中、訪れた方々の誘導などのお手伝いをしました。

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

CSM 中央スポーツ医療専門学校 (旧 前橋東洋医学専門学校)

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230 HP.http://www.ist.ac.jp

www.chuo.ac.jp

CHUO
中央カレッジグループ

中央スポーツ医療専門学校は、前身の東洋医学専門学校時代を含め、地域社会に多くの卒業生を輩出してきました。身近な地域で、多くの人たちに愛されながら施術を続ける先輩たちを紹介します。

勤務先 高柳整形外科・
歯科クリニック

五味 潤 恋さん

(2017年卒業、勢多農林高校出身)

整形外科で充実の日々

専門学校に在学中、研修でお世話になった接骨院の先生が開業前は整形外科に勤務していて、介護施設への往診のこと、病棟でのリハビリなどについて話してくれました。その話の内容は魅力的で、私も先生のようにたくさんの経験を積み、さらにスキルアップしたいと思い、整形外科への就職を強く希望しました。

その思いが就職に結びつきました。



今は、たいへん恵まれた環境で毎日楽しく働いています。

【在学中の思い出】学校生活の思い出は数えきれないほどありますが、遅くまで実技の練習をしたことや、試験問題を出し合ったりしたことは今でも覚えています。勉強やアルバイト、研修など、忙しくも充実した3年間を送ることができたと思います。

活躍する卒業生

勤務先 MWS日高
(日高デイトレセンター)

対馬 佳奈さん

(2018年卒業、高崎東高校出身)

介護施設での仕事にやりがい

介護施設で働く柔道整復師がいることを知っている方は少ないと思いますが、実際に私自身も就職するまでは詳しいことは知りませんでした。

在学当時の担任の先生の勧めで、介護施設を見学した際に、初めて機能訓練指導員として働く柔道整復師の姿を見ました。一緒に体を動かしたり、リハビリをしている現場を見て、とてもやりがいのある仕事だと感じました。

実際に介護施設で仕事をしてみると、接骨院や整形外科ではなかなか経験できないような内科的疾患をお持ち



の方のリハビリや退院後の在宅生活のサポートなど、より一人一人の生活に密着した仕事にやりがいを感じています。

【在学中の思い出】在学中は、クラスみんな仲が良かったので、学校に通うのが楽しかったです。テスト前はみんなで協力して勉強したり、実技の練習をしたのがいい思い出です。

SDGs活動で廃材有効活用

テープの芯や段ボール使い



本校ではSDGs活動の一環として、「限りある資源を持続可能な資源にするためにどのような創意工夫ができるか」を考えました。そこで

たどり着いたのが、学校活動において発生する廃材の有効活用です。

芯7個で補助具に

テーピングの授業後に発生する「芯」を利用して治療に活用できる道具を作りました。

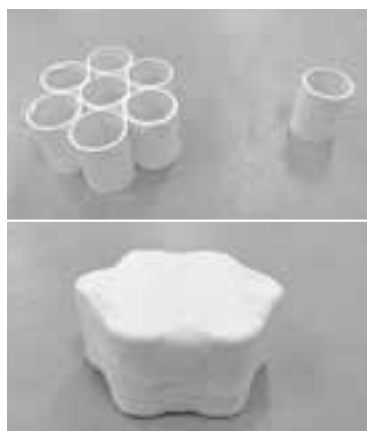
柔道整復師が使用する包帯は繰り返し洗濯して再利用できるのに対し、テーピングを巻く際には必ずごみが出てしまいます。そのごみとして出てしまうテープの「芯」について、何か再利用して有効活用できるのではないかと考えました。

考えたのは、膝を固定する時に使用する補助具です。テーピングの芯を7個組み合わせテーピングで巻き作成しました。

段ボールを応急処置に活用

梱包材として使われている「段ボール」を応急処置の材料として利用することを考えました。

柔道整復師が昔から使用している固定材料の一つに「厚紙」と呼ばれる段ボールによく似た素材のものがありません。厚紙は加工がしやすく、安価で、軽量なため、持ち歩いて突発的に生じ



テープの芯7個をつまきまとめて、膝を固定する補助具に生まれ変わらせた



不要となった段ボールを切って有効活用し、応急処置時の材料などとして使う



たけがに対する応急処置の材料としても用いられてきました。段ボールを厚紙の代用品として加工することで、廃棄物を減らすことや、応急処置の知識を学ぶことの両方に繋がるのではないかと考えました。

「早期内定目指すぞ!」 就職ガイダンスを開催

「就職早期内定を目指して」。本校学生向けの就職ガイダンスが6月30日、学園本部2号館で開催されました。

今回は、接骨院をグループ展開している群馬県外の企業6社に参加いただき、3年生と2年生を中心にブース形式で行われました。事前学習で興味を持った企業4社を選択し、各ブースに座り、15分ずつ説明を聞く方法で実施し、短い時間でしたが、学生は真剣に企業の説明を聞き、質問する姿もみられました。

9月30日には、群馬県内で分院をも



早期内定に向け開かれた就職ガイダンス

っている卒業生の接骨院や病院、介護施設にお願いし、就職ガイダンスが開催されました。

群馬県内・外の多くの職種・企業を知ること、資格取得後の就職の選択肢が広がるのではないかと思います。多方面で活躍する卒業生のように、資格を生かし、さまざまな場面で活躍してくれることを期待しています。

認定実技試験

全員が合格

認定実技試験が11月20日に行われ、受験者全員が合格することができました。認定実技試験は、3月に行われる国家試験に先立ち、柔道整復師の「技術」について評価される試験です。

審査は大きく3つに分けられ、各ブースでそれぞれカードを引き、書かれている項目を実施します。1つ目は「診察・整復」です。骨折3種類、脱臼4種類、腱や靭帯損傷9種類の合計16種類について、その臨床的対応能力が問われます。2つ目は「固定」です。固定の材料には包帯やテーピングなどさまざまなものがあり、それらを扱う能力について15種類のけがを対象に評価されます。最後は「柔道」です。柔道では、相手を倒す“強さ”ではなく、相手と自分の“体の使い方”について



認定実技試験の練習をする学生たち

重要視されます。礼法を身につけられているか、受け身で自分の身を守るか、そして技で相手の体をコントロールできるかという能力が審査されます。

コロナ禍のため、ここ2年間はこれらの技術を口述で試験官に伝えるという試験形式でしたが、本年度は従来の形式に戻り、目の前にいる患者に対して助手にも指示を出しながら実演するかたちで試験が実施されました。患者や助手役は、後輩の2年生が担い、3年生と協力し合いながら放課後などの時間を使って練習に取り組んでいました。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得
CHS 中央高等専修学校
 前橋: 〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校
前橋校 <http://chs-clark.jp>

CHUO
 中央カレッジグループ



中央カレッジグループ「合同学園祭」に参加 活動展示や模擬店で大活躍

中央高等専修学校前橋校・桐生校は、9月23日にピエント高崎で行われた中央カレッジグループ創立80周年記念「合同学園祭」に、展示班と模擬店班に分かれ参加し大活躍しました。

展示 奉仕活動紹介や缶バッジ作り

展示班は前橋校のインターアクトクラブとCGアニメーションコースの生徒が中心となって運営しました。

インターアクトクラブは地域清掃や公園整備などの年間を通じて行っている活動のようすを模造紙にまとめ、展

示発表を行いました。

CGアニメーションコースは、授業などで制作している作品を展示するミニ作品展を開催しつつ、缶バッジ作成のワークショップを行いました。ワークショップには子ども連れの家族を中心に多くの方に参加していただきました。



缶バッジ作りのワークショップ

模擬店 両校で「やきそば」販売

模擬店班は前橋校、桐生校の両校の生徒が協力し「やきそば」の模擬店を運営しました。

生徒たちは、午前10時開店を目指し、9時から準備を進めました。店の担当シフトを決めて、キャベツや麺(めん)を炒め、一生懸命やきそばを作りました。正午過ぎには長い列ができ、大盛況でした。最終的には675食を販売することができました。忙しく対応した

生徒たちは疲れたようすでしたが、担当者は「お客様が集中し、大変な時間帯も多かったが、たくさんの人たちに買ってもらえてよかった。とても良い経験ができました」と笑顔で感想を述べていました。

展示班も模擬店班も、専門学校の学生とともに合同学園祭に参加することで、貴重な体験になりました。来年度以降の行事にこの経験を生かしてもらいたいと思います。



「やきそば」模擬店担当の学生たち

インターアクトクラブが「さちの池」周辺にヒマワリ

本校のインターアクトクラブは2022-2023年度の活動として、前橋公園「さちの池」周辺整備を行っています。その一環としてメンバーは、池南側の緑地の一角にヒマワリの苗を植えました。9月中旬には、かわいらしい丈のヒマワリが咲きほこりました。



生徒たちが植えたヒマワリが花を咲かせた

今後もこの緑地に花の苗を植え、公園利用者に多くの花を楽しんでもらえる環境を整備していく予定です。

また、「さちの池」の放水路には、ホタルが生息しています。そのホタルをより増やしていくための整備も今後検討していきます。

生徒たちのアイデアも取り入れつつ、池周辺の緑地を整備していくので、前橋公園を訪れた際にはぜひご覧ください。

合同体育祭 10種目を楽しく、熱く

合同体育祭



盛り上がった合同体育大会

前橋・桐生キャンパス合同の「体育祭」が10月27日、ヤマト市民体育館前橋(前橋市民体育館)で行われました。新型コロナウイルス感染防止対策も十分に配慮し開催した大会は、前橋3年(青)、前橋2年(黄)、前橋1年(緑)、桐生(赤)の4チームによる対抗戦で、10種目で競いました。

体育祭に先立ち、前橋のCGアニメーションコースがポスターなどを作成し、生徒たちのモチベーションを上げてくれました。また、桐生キャンパスの生徒たちが事前に競技の道具などの作成を行うなど、今回も生徒が主体となって行事を進めることができました。

競技はカーゴイーツ(かごを使ったボール運びリレー)、綱引き、カラ

フル台風(台風の日)、ちはやふる(カードめくり陣取り合戦)、みんなで飛ぼう1・2・3(10人大縄跳び)、左手はそえるだけ(玉入れ)、棒を制するものは体育祭を制す(棒引き)、インフィニティ∞(ハの字大縄跳び)、大玉運び、リレーの10種類で、ネーミングにも特徴を持たせてそれぞれとても盛り上がる内容となりました。

最も盛り上がった競技が「棒を制するものは体育祭を制す」でした。5本並べられた棒を各チーム6人ずつの選手で奪い合うもので、1本の棒に何人向かうのか重要な駆け引きとなり、あっさり棒を取ることもできれば、長時間引き合うことになる場合もあります。生徒からも「ずっと引き合っていたので、とても疲れたが、一番盛り上



リレー競技のゴールシーン

がったと思う。自分の陣地に引き込められたときはとてもうれしかった」など好評で、来年もこの競技は必ず実施してほしいという意見が寄せられました。

また、体育の時間だけでなく、放課後も利用し特訓した大縄跳びも盛り上がりました。練習では20回跳ぶのがやっとだったチームが、本番で50回以上跳ぶなど、「体育祭本番の奇跡」も起こりました。

大会は、最終種目のリレーまで優勝チームが決まらない混戦となりましたが、前橋3年チームが男女ともにリレーで1着になり、総合優勝を果たしました。

「合同体育祭」は、運動が得意な生徒はもちろん、運動が苦手な生徒も自分のできることに精いっぱい取り組み、参加した生徒全員が協力し合いながら、それぞれ全力を出し切ることができました。これを機にクラスや学年の信頼の絆もさらに強くなったように感じました。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校連携校

桐生校

http://chs-clark.jp

CHUO
中央カレッジグループ

「SDGs」を自分たちのものに

カードゲームで学び、多彩な取り組み



中央高等専修学校桐生校では、母体である中央カレッジグループ80周年記念行事として取り組まれている、CSCP (Chuo SDGs Challenge Project) の一環として、カードゲームなどによる学習、それをもとにした多彩なSDGs活動を展開しています。



カードゲームでSDGs学ぶ

【ゲームでSDGs学習】

本校のSDGsの取り組みを前に、そもそもSDGsとはなにかを学びました。研修前は、およそ8割の生徒がSDGsという言葉聞いたことがあるという状況でした。しかし、それはどういった活動なのか、中身まで知っている人はほとんどいませんでした。そこで、各学年で総合学習の時間にSDGsとはなにかを学びました。また、家庭科の時間ではSDGsすごろくゲームを行いました。「世界中で貧困や飢餓に苦しんでいる人は何人いるのか」などのクイズに答えながらゴールを目指すすごろくです。すごろくを楽しみながら世界の状況を学ぶことができました。

6月22日にはSDGsファシリテーターのもと、2030 SDGsカードゲームも

行いました。カードゲームを通してなぜSDGsが必要か、目標を達成するためにどのような考えや姿勢が重要かを学びました。特にこのゲームを通して、協力して取り組む重要性も体験しました。

【自分たちにできるペットボトルキャップ回収の実践】

SDGsとはなにか、世界の現状はどうなっているのかを学習したあとは、実際に自分たちに何ができるのかを考えていきました。

「身近なところからだれでもできる活動を通して地域・社会に貢献する」という視点から、本校では、SDGsの取り組みとしてペットボトルのキャップ集めを行うことにしました。エコ問題に関心が高かったこと、キャップを集めた個数に応じて成果が見えやすいこと、生徒1人1人が着実に取り組めることを踏まえ、この活動を決めました。具体的な取り組みの流れとして、ペットボトルキャップを回収し、リサイクル資源としてリサイクル業者に売却します。その売却益を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(以下JOC)」に寄付します。その寄付金をもとにJOCが世界のワクチン工場へワクチンの製造を依頼し、発

展途上国をはじめとしたワクチン不足の問題を抱えている国々にワクチンが送られます。今世界ではワクチン不足により20秒に1人の子どもが命を落としていると言われています。ワクチン

不要のTシャツでエコバッグ作り

SDGs活動の一環として、家庭科の授業で、着なくなったTシャツをもとにエコバッグを作りました。

環境問題への取り組みとしてエコバッグは有名となりました。しかし若年層の利用率の低さや、そもそもエコバッグの作成そのものへのコストも問題視されています。そこで、着なくなってタンスに眠っているTシャツをもとにエコバッグを作りました。縫わずにハサミだけでつくれるので、普段裁縫などまったくしない生徒でも簡単に作ることができました。完成品も市販のバッグと遜色ない出来栄で、手作りでも自分だけのエコバッグなので愛着もわきます。学校へ登校する時に使ってくれている生徒もいます。

「Tシャツで作るなんてとっと思ってい



不要Tシャツを有効活用しエコバッグ作り



完成したエコバッグを持つ2年生

たが、完成したら立派なものできた」「ハサミだけで縫わずに作れるのは簡単で良かった」という声が生徒から聞かれました。

簡単に作れるので、自宅に着なくなったTシャツがある方はぜひ試してみてください。



茶白山登山に挑戦

ピザ作りと山登りに挑戦 2・3年生が交流深める

2・3年生の親睦を深める恒例の交流研修が、4月28日に太田市にある東毛青少年自然の家で行われました。

本年度は、午前中にピザ作り、午後は隣接地にある茶白山へ登りました。

午前中のピザ作りでは4人1組に分かれて生地からピザを作りました。生地をこねてたたいて発酵させ、具材をカットしトッピング、釜でピザを焼いて完成。どのグループも美味しいピザが出来上がりました。

午後は標高300mほどの茶白山に登りました。気温は20度ほどで、4月らしい過ごしやすい陽気でしたが、登山中は暑く、足場も悪い場所もあり大変でした。こまめに休憩を取りながら1時間半ほどで全員登り切ることができました。

初参加した、ベーシックコース(週1回登校のコース)2年生の中山奈月

さんは、「ピザは、とてもおいしく作れました。生地ももちもちでした。茶白山登山は、普段運動する機会もなく体力にも正直自信がなかったので、最後まで登れるか本当に不安でした。途中何度もあきらめそうになりましたが、弟がよく茶白山に登っていて、その話を聞いたびうらやましく思っていたので、足が限界を迎えそうでしたが、絶対に登り切ってやろうと思ってがんばりました。頂上に立つと景色がとてもきれいでした」と振り返ってくれました。

サツマイモ苗植えを体験

本校恒例の農業実習体験が6月9日、太田市にある小久保農園ご協力のもと行われ、サツマイモ苗を植えました。

作業は、何列もの畝に等間隔に穴をあけ苗を植えました。浅すぎてもきちんと根をはらず、また斜めに植えないといけないなど細かな作業でした。この植えた苗は成長し、収穫は秋に行われました。農業に参加した3年生の久保田雪月さんは「苗植えは楽しかったです。しっかりできたと思います」と話していました。

ソフトバレーボールに汗流す

男女合わせ19チームが参加

前橋・桐生合同球技大会



前橋・桐生キャンパス合同の球技大会が7月15日、桐生ガススポーツセンター(桐生市民体育館)で行われました。種目はソフトバレーボール。体育の授業で練習を重ねてきました。各キャンパスで男女別のチームを編成し、男子9チーム、女子10チームが参加し、それぞれ優勝を目指しました=写真。

午前中は総当たりの予選リーグを行いました。対戦チーム同士はもちろん、周りで応援する生徒も大いに盛り上がりました。午後は午前のリーグ戦の上位4チームによる決勝トーナメントが行われました。予選リ

ーグを上位で勝ち抜けたチーム同士の戦いなので、決勝トーナメントは男女ともに熱戦となりました。

男子優勝は前橋キャンパス2年生チーム。女子優勝は前橋キャンパス3年生チームとなりました。白熱した試合が多かったので、閉会時にはみんな疲れたようでしたが、同時にすがすがしい、やり切った表情も見えました。

なお大会は、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、手指の消毒、競技中以外のマスクの着用など十分な感染症対策を行い実施しました。



〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目49-3 TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com



「英語村」活用し 子どもたち172人参加

「キャンプを楽しむように夏の一日を英語に親しもう!」。中央外語学院恒例のサマーデイキャンプが、前橋市嶺町にあるCGV(中央グローバルビレッジ、前橋英語村)で、7月末から8月上旬にかけて開かれました。

今年は、中央外語学院の生徒・一般募集含め園児52人、小学生120人の合計172人の子どもたちが参加しました。



サマーデイキャンプに参加した子どもたち

園児たちは7月26日、8月2・9日に、小学生は7月28・29日と8月4・5・8日に、イントロダクション・入国審査から外国人講師たちと一緒にシチュエーション英会話をはじめ、ランチを含めハントやゲームなどさまざまなアクティビティを体験。楽しみながら英語に触れていました。



トレジャーハントのようす



古市町に移転し、レッスンも始まった中央外語学院の外観

学院事務所と教室が 2号館1階に移転

本学院の事務所と教室が、これまでの新前橋町から学園グループ本部に近い古市町1丁目の学園2号館1階に移転しました。

ここは、以前に就職指導センターだった場所で、3つのレッスンルームを持った事務所兼語学スクールに改装し、レッスンを開始しました。

従来の建物に比べ、より明るく、かつ広くなり、入口からの眺めも良くなりました。スタッフ・講師一同は、このオフィスで日々楽しくレッスンをしております。今後とも、よろしくお願いたします。



スタッフルームも新しく



資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC
〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

「税理士」「社労士」など 2023年目標講座始まる

「税理士」「社会保険労務士」などの2023年度試験対策講座がスタートしました。税理士講座では、全10科目の通学講座(ビデオブース講座)を開講しています。また、社会保険労務士講座では、教室講座が9月25日から開講となり、新規会員として初めて資格取得を目指す方、また再受験をされる方など多くの方が受講しています。

本年度もコロナ禍の中ではありますが、TACとして今後もさまざまな講座を順次開講し、本校スタッフ一同、



社労士教室講座のようす

来年の試験合格に向け全力で受講生の皆さんをサポートしていきます。感染防止対策もしっかりとして、安心・安全な環境で皆さんをお待ちしています。

受講生が本試験に挑戦

7月や8月を中心に資格試験が全国で実施され、本校からも多くの受講生が本試験に挑戦しました。税理士・社会保険労務士・中小企業診断士(1次試験)などさまざまな資格試験が行われ、本校からも多くの受講生が本試験

に挑戦しました。感染対策などで学習環境に苦勞された受講生も多かったと思いますが、われわれスタッフは、多くの受講生が学業や仕事の合間に勉強時間を捻出し、日々頑張っている姿を知っていますので、1人でも多くの方が、合格できるよう願っています。

2022年度公務員試験に続々合格

2022年度の公務員試験もコロナ禍という環境で行われ、その中でも本校の受講生は、合格に向けて日々努力をしておりました。一部を除き結果が発表されており、本校受講生からも続々と合格の報告が寄せられています。

本年度は、群馬県庁・東京都庁・埼玉県庁・兵庫県庁・前橋市・高崎市・太田市などの事務職での合格のほか、栃木県庁(土木)・国家一般職(国土交通省)などの技術職でも合格者を輩出することができました。受講生の皆さん、本当におめでとうございませう。今後も合格の報告があり次第、ホームページなどで案内していきます。

お得な講座キャンペーン情報

☆社会保険労務士 早割キャンペーン
対象:【初学者向け】総合本科生
期間:10月31日(月)まで
・通常受講料から¥44,000円割引

TAC群馬校取り扱い講座

- 【会計・経営・労務関係】
税理士・簿記検定・社会保険労務士
建設業経理士・中小企業診断士
FP・証券アナリスト
- 【法律・公務員関係】
行政書士・ビジネス実務法務検定
公務員(地方上級・国家一般職)

資格・検定紹介

—「経営・労務関係」編—

新規開講

●第I種衛生管理者

試験日:センターにより異なり
月2~6回程度

常時50人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係る技術的な事項を管理させることが必要です。

〈衛生管理者の魅力〉

「全ての事業場で生かせる」

全ての業種の事業場において衛生管理者となることのできるオールラウンダーな資格です。

「毎月試験があるので受験しやすい」
全国各地にある安全衛生技術センターで毎月実施されています。

理系公務員(技術職)

警察官・消防官

【不動産関係】

不動産鑑定士・宅地建物取引士

マンション管理士・管理業務主任者

【情報処理・パソコン関係】

ITパスポート・基本情報技術者